

黒潮

和歌山県看護協会 会報

平成25年5月発行

第123号

発行所

和歌山県看護協会

〒641-0036

和歌山市西浜1014-27

TEL:073-446-0605

FAX:073-446-0899

<http://www.wakayama-kangokyokai.or.jp>

発行人

木村 佐多子



写真撮影：広報委員

CONTENTS

- 通常総会開催に向けて 2
- 平成25年度 通常総会プログラム
 - 理事会報告 3
 - 平成25年度重点事業並びに事業計画 .. 4
 - 平成25年度収支予算 7
 - 職能委員会報告 8
 - 常任委員会報告 10
 - 特別委員会報告 12
 - 認定看護管理者制度委員会報告 .. 13
 - その他委員会報告 14
 - 地区支部報告 14
 - 平成25年度 和歌山県看護協会役員・推薦委員選挙候補者一覧 18
- 保健師のコーナー 19
- 助産師のコーナー 19
- 看護師のコーナー 19
- 専門認定看護師のコーナー(トピックス2013) .. 20
- 地域連携のコーナー 20
- 医療安全数珠つなぎ 21
- 私の○○ 21
- リレーエッセイ 友達の輪 21
- My Hospital 22
- 施設内禁煙に向けて 22
- 和歌山県看護協会の動き 23
- 知って得する看護協会だより 24
- プレゼント 24

和歌山県看護協会 会員数

平成25年5月13日現在

会員総数	5,212名
名誉会員	2名
保健師	129名
助産師	191名
看護師	4,599名
准看護師	291名

平成 25 年度通常総会開催に向けて

公益社団法人 和歌山県看護協会 会長 木村 佐多子



新緑の美しい季節となりました。各職場では新人を迎え、多忙な中にも活気ある日々をお過ごしのことと存じます。本看護協会は昨年4月1日、公益社団法人としてあらたにスタートしました。「人々の健康な生活の実現」をめざして、「看護の質の向上」「安心して働き続けられる環境づくり」「看護領域の開発・展開」を使命として、7つの重点事業を中心に活動を展開し、滞りなく終了致しました。会員の皆様の平素からのご支援ご協力によるものと深く感謝申し上げます。今年度も公益社団法人として、使命・活動理念を軸として8項目の重点事業を掲げて活動を展開してまいりますので、引き続きのご支援ご協力をよろしくお願い致します。

進行する超少子高齢社会に於いて、看護への期待は益々拡大し、取り組むべき課題は山積しています。働き続けられる環境づくりについては、今年度も潜在看護職復職支援事業、WLB推進事業、ナースセンター事業を推進し、行政や労働局、ハローワークとも連携しながら、職場づくり、人づくり、ネットワークづくりに努めます。また、「看護職の夜勤・交代制勤務に関するガイドライン」の普及啓発、「特定行為に係る看護師の研修制度(案)」の周知等にも努めて参ります。

看護の質向上については、卒後臨床研修制度が努力義務化されて4年目、今年度もこの事業の更なる推進と共に、教育計画に基づいて、看護職のキャリア開発を支援し看護実践能力及び専門性の強化に努めます。尚、今年度は臨床実習指導者講習会を7月から開催致します。また10月には、日本看護学会「成人看護I」学術集会を日本看護協会との共催で開催致します。皆様からの演題応募並びに学会参加を是非とも宜しくお願い致します。

在宅への取り組みに関しては、看護師職能委員会Ⅱ並びに在宅看護推進委員会を中心に行政や訪問看護ステーション協議会とも連携しながら推進して参ります。

新看護研修センター建設に関しては、現センターは昭和60年に建設され、これ迄多くの看護職が現センターを拠点に専門性を高め、質の向上を図ってきました。同時にナースセンター事業の看護職確保定着推進の拠点としても大きな役割を果たしてきました。しかし、現在、会員は5,526人、事業も拡大しニーズに対応困難な状況となっています。また災害による津波被害も想定される中、平成18年度総会で新看護研修センター建設を進めることが承認されましたが、諸般の事情により現在に至っています。公益社団法人として、期待される役割が発揮できるよう、充実した研修の場や交流の場として、また、地域との繋がりを深める場としても、是非、ご理解頂きまして、ご支援ご協力の程何卒宜しくお願い致します。

また、地域に密着した公益目的事業を進める上から、同時に組織強化に関しても支部活動は重要であり、24年度から支部長会を立ち上げ、地区支部の組織強化とネットワークの構築に努めているところです。

公益社団法人として2年目、使命・活動理念に基づいて、役職員一同、心をつ一つにして様々な事業を展開して参りますので、今後も一層のご支援ご協力の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

そして、6月22日の通常総会では多くの会員の皆様のご参集のもと、活発で建設的なご意見を頂けますよう、宜しくお願い申し上げます。

平成 25 年度 和歌山県看護協会

● 日 程：平成 25 年 6 月 22 日 (土)

- | | |
|-------|-----------------|
| 12:20 | 開 場 |
| 12:50 | オリエンテーション |
| 13:00 | 開 会 |
| | 物故会員への黙祷 |
| | 会長挨拶 |
| | 来賓祝辞 |
| | 祝電披露 |
| | 和歌山県看護協会会長表彰 |
| | (休 憩) |
| 13:50 | 議長団選出 |
| | 議事録署名人選出 |
| | 平成 24 年度総会議事録朗読 |
| 14:00 | 報告事項 |
| | 日本看護協会代議員報告 |
| | 理事会報告 |
| | 職能委員会報告 |

通常総会プログラム

● 場 所：県民文化会館 小ホール

- | | |
|-------|---------------------|
| | 常任委員会・特別委員会報告 |
| | 地区支部報告 |
| | 平成 24 年度事業報告 |
| | 平成 25 年度重点事業並びに事業計画 |
| | 平成 25 年度収支予算 |
| | 議決事項 |
| | (第一号議案～第三号議案) |
| | 選挙結果発表 |
| | 新役員紹介 |
| | 旧役員への謝辞 |
| | 旧役員代表者挨拶 |
| | 綱領宣言 |
| | 看護協会歌唱 |
| 16:30 | 閉 会 |
- * 進行上の都合により、時間の変更となる場合があります。

第一号議案 平成 25 年度役員及び推薦委員の選出について
 平成 26 年度公益社団法人日本看護協会代議員及び
 予備代議員の選出について

第二号議案 平成 24 年度決算報告並びに監査報告 (案)

第三号議案 新看護研修センターについて (案)

報 告 事 項

理 事 会 報 告

I 理事会等開催状況

1. 理事会

回	開催日	時間	出席者		
			理事	監事	事務局
1	平成 24 年 4 月 25 日	13:00～14:45 16:10～17:10	15	2	2
2	平成 24 年 6 月 15 日	13:30～15:00	15	2	2
3	平成 24 年 7 月 2 日	13:00～14:40	16	2	2
4	平成 24 年 8 月 29 日	13:00～16:30	15	1	2
5	平成 24 年 10 月 16 日	13:30～16:45	16	1	1
6	平成 24 年 12 月 14 日	13:30～16:30	17	3	1
7	平成 25 年 1 月 18 日	14:00～16:40	16	2	1
8	平成 25 年 3 月 8 日	14:00～17:00	16	2	1

2. 理事・各委員長・地区支部長合同会議

回	開催日	時間	出席者			
			理事	監事	委員長	事務局
1	平成 24 年 4 月 25 日	13:30～15:00	15	2	13	2
2	平成 24 年 7 月 2 日	15:00～17:00	14	2	7	2

3. 代議員研修会開催状況

回	開催日	出席者	
		代議員	予備代議員
1	平成 24 年 5 月 16 日	6	6

【報告事項】

1. 公益社団法人移行について
2. 県内関連会議参加報告
3. 事業進捗状況 (各担当理事から)
4. 平成 24 年度県受託事業について
5. 会員数について
6. 看護政策ハヤヨミ

第 2 回理事会 平成 24 年 6 月 15 日 (金)

【協議事項】

1. 平成 24 年度通常総会に向けての決議事項
 第一号議案 平成 24 年度役員及び委員等の選任について
 第二号議案 平成 23 年度決算報告並びに監査報告
 第三号議案 公益社団法人和歌山県看護協会定款の変更について
 第四号議案 公益社団法人和歌山県看護協会定款細則の変更について
 第五号議案 新看護研修センターについて
2. 看護師職能委員会 I の委員 1 名選出 (案) について
3. 施設会員代表者会議研修会 (案) について
4. その他
 1) 第 10 回佐川看護特別章候補者推薦について
 以上すべて承認される

【報告事項】

1. 日本看護協会理事会報告
2. 関連団体会議参加報告
3. その他
 1) わかやま国体きいちゃん募金について

II 理事会開催

第 1 回理事会 平成 24 年 4 月 25 日 (水)

【協議事項】

1. 平成 23 年度事業実施報告 (案)
2. 平成 23 年度一般会計決算と監査報告 (案) について
3. 平成 24 年度重点事業と事業計画 (案) について
4. 平成 24 年度収支予算 (案) について
5. 定款及び定款細則の変更 (案) について
6. 24 年度改選理事 (案) について
7. 平成 25 年度日本看護協会代議員及び予備代議員選出について
8. 通常総会に関すること
 1) 通常総会提案事項 (案) について
 2) 議長、記録、代議員報告、選挙管理委員選出について
9. 新看護研修センター建設への取り組み (案) について
10. 和歌山県看護協会諸規程 (案) について
11. 各委員会委員 (案) 及び諮問事項 (案) について
12. 各地区支部活動について

以上すべて承認される

第 3 回理事会 平成 24 年 7 月 2 日 (月)

【協議事項】

1. 平成 24 年度総会議案の決議事項確認及び事業推進 (案) について
 1) 役員理事紹介 2) 定款 (別冊) 及び組織図
 3) 規定集について
 4) 平成 25 年度代議員及び予備代議員について
2. 平成 24 年度重点事業及び事業計画 (案) について
3. 円滑な事業運営 (常務理事会・理事会等の年間計画) について
4. 新看護研修センター建設に関する今後の取り組み (案) について
5. 各表彰候補者推薦について
 1) 平成 25 年度春の勲章及び褒章候補者推薦
 2) 第 41 回 (平成 24 年度) 読売医療功労賞候補者推薦
 3) 平成 24 年度和歌山県ナース章候補者の推薦
6. 平成 24 年度各地区支部活動について
7. 常任・特別委員会への諮問事項 (案) について
8. 組織強化 (案) について
9. 細則変更 (案) について
10. その他
 1) 業務執行理事の役割分担について
 2) 委員会等の担当理事について

以上すべて承認される

【報告事項】

1. 平成 25 年度事業運営に関する提案要望について
2. 職能委員会活動、常任・特別委員会の活動並びに進捗状況 (担当理事)
3. 平成 25 年度通常総会開催日程と開催場所について
4. 理事会役員へのメールアドレス等について
5. 平成 24 年度和歌山県病院協会学術大会について
6. 行政への要望事項について
7. その他

第 4 回理事会 平成 24 年 8 月 29 日 (水)

【協議事項】

1. 日本看護協会理事会からの課題
 - 1) 今後のナースセンター事業について
 - 2) 災害支援のあり方について
 - 3) 看護師特定能力認証制度法制化推進について
2. 和歌山県ナース章候補者 (案) について
3. 事業実施報告 (4 月～8 月) について (各担当理事から)
4. 役員責任賠償保険について
5. 次期和歌山県保健医療計画について
6. 新看護研修センター基本方針 (案) について
7. 事務局人事 (案) について

以上すべて承認される

【報告事項】

1. 日本看護協会関連会議報告
 - 1) 理事会、法人会会員
 - 2) 職能委員長会議
 - 3) 拡大医療安全推進会議
 - 4) 教育担当者会議
 - 5) 災害看護担当者会議
 - 6) 日本看護学会運営会議
2. 県内関連団体会議参加報告
3. その他
 - 1) 第 6 回毎日ウイークインへの協力について

第 5 回理事会 平成 24 年 10 月 16 日 (火)

【協議事項】

1. 日本看護協会理事会からの課題について
 - 1) 日本看護協会の機関誌・誌の見直しについて
 - 2) 「会員名簿管理体制の改善」新体制構築について
2. 平成 25 年度和歌山県看護協会事業への提案・要望について
3. 新看護研修センター建築推進 (案) について
4. 事務局人事 (案) について
5. 日本看護協会への要望事項について

以上すべて承認される

【報告事項】

1. 日本看護協会等関連会議報告
 - 1) 第 4 回理事会・法人会会員
 - 2) 平成 24 年度ナースセンター事業担当者会議
 - 3) 日本看護学会運営会議
2. 事業進捗状況 (各担当理事)
 - 1) 各委員会 (常任・特別)
 - 2) 県受託事業
3. 県ナース章受章者について
4. 会員数について
5. その他
 - 1) 看護政策ハヤヨミ
 - 2) 県内関連団体会議参加報告

第 6 回理事会 平成 24 年 12 月 14 日 (金)

【協議事項】

1. 平成 26 年度日本看護協会代議員・予備代議員の選出 (案) について

2. 平成 24 年度事業中間報告と監査報告 (案) について
3. 平成 25 年度の重点事業 (案) について
4. 平成 25 年度教育計画 (項目) (案) について
5. 新看護研修センター建設推進 (案) に関する事
6. 日本看護協会会長表彰・日本看護協会名誉会長推薦について
7. その他
 - 1) 効率的な会議運営について

以上すべて承認される

【報告事項】

1. 日本看護協会等関連会議報告
 - 1) 理事会・地区別法人会会員
 - 2) 地区別職能委員長会
2. 会員数について
3. 県内関連団体会議参加報告
4. 和歌山県第 6 次保健医療計画について

第 7 回理事会 平成 25 年 1 月 18 日 (金)

【協議事項】

1. 平成 25 年度 重点事業 (案) について
2. 平成 25 年度事業計画概要 (案) について
3. 平成 25 年度教育計画 (案) について
4. 職能委員会運営規則 (案) について
5. 和歌山県への提案要望について

以上すべて承認される

6. 新看護研修センター建設推進について (継続 審議)

【報告事項】

1. 各職能委員会報告
2. ナースセンター事業報告
3. 平成 25 年度日本看護協会代議員及び予備代議員等研修会開催について
4. 平成 25 年度第 2 回地区別施設会員代表者会議について
5. 「紀の国わかやま国体」について

第 8 回理事会 平成 25 年 3 月 8 日 (金)

【協議事項】

1. 平成 25 年度 重点事業・事業計画 (案) について
2. 平成 25 年度予算について (案) について
3. 和歌山県看護協会会長表彰者候補 (案) について (継続審議)
4. 新看護研修センター建設推進 (案) について (継続審議)
5. 平成 25 年度委員会及び諮問事項 (案) について
6. 会費規定 (案) について
7. 事務局人事 (案) について
8. 新入会員オリエンテーション (案) について

1.2.5.6.7.8 について承認される

【報告事項】

1. 日本看護協会等関連会議報告
 - 1) 日本看護協会理事会
 - 2) WLB 地域推進連絡協議会
 - 3) 抄録選考委員会
2. 平成 24 年度事業実施経過報告
3. 平成 25 年度教育計画について
4. 第 2 回地区別施設会員代表者会議について
5. 会員数について
6. 県内関連団体会議参加報告
7. その他
 - 1) 紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会 について
 - 2) 看護政策ハヤヨミ

平成 25 年度重点事業並びに事業計画

重点事業

1. 看護実践能力及び専門性の強化
2. 働き続けられる環境づくりと確保定着の推進
3. 療養を支える訪問看護や介護領域における看護機能の強化
4. 保健師活動の体制整備と機能強化
5. 助産実践能力強化とその体制整備
6. 災害時の看護支援対策の充実
7. 県民の健康と福祉を守る活動の推進
8. 新看護研修センター建設推進

事業計画

・二重下線は重点事業
・下線は新規事業

I. 看護教育及び学会等学術振興に関する事業

1. 継続教育に関する事業

- 1) 教育計画の企画・実施・評価 教育委員会 年 12 回
 - (1) 新人教育 (県受託) 6 コース
(内 助産師新人教育 1 コース)
 - (2) ジェネラリストを育成する教育 32 コース
(内 衛星通信 5 コース)

- ①県受託事業
 - ・訪問看護推進事業 2コース(各3日間 定員30名)
 - ・中堅看護職員実務研修 3分野(各3日間)
- (3) 管理者のための教育 7コース
- (4) 教育者・研究者を育成する教育(県受託事業) 2コース
 - ①新人看護職員実地指導者研修
 - ②和歌山県保健師助産師看護師実習指導者講習会
- 2) 認定看護管理者教育
 - (1) ファーストレベル教育課程(150時間 定員40名)
 - (2) セカンドレベル教育課程(180時間 定員30名)
 - (3) 認定看護管理者教育運営委員会 年4回
- 3) 研修ニーズ等把握のための調査
- 4) 教育環境の充実

2. 看護研究の推進事業

- 1) 平成25年度日本看護学会学術集会 開催
 - 日程:平成25年10月24日(木)25日(金)
 - 定員:1,700名
 - 於:県民文化会館
 - テーマ:「命輝く急性期看護、未来への創造」
 - 特別講演:「がんを体験して」小西博之氏(俳優)
 - 教育講演:「実践活動に活かすフィジカルアセスメント」
山内豊明先生

①シンポジウム

「急性期看護における連携のあり方を考える」

②シンポジウム

「クリティカル領域でのチャレンジ
ー特定看護師(仮称)業務施行からの報告ー」
交流集会Ⅰ「紀伊半島の大水害に学ぶ」
交流集会Ⅱ「認定看護師実践活動報告」

- 2) 平成25年度和歌山県看護研究学会 開催
 - 平成26年2月8日(土) 於:県民文化会館
- 3) 図書の整備・充実と活用支援
 - (1) 図書・雑誌等の購入 及び図書利用の促進
 - (2) 文献検索システム(日本看護協会)利用方法のホームページへの掲載

II. 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業

1. 働き続けられる職場環境改善への支援事業

- 1) ナースセンター事業
 - (1) 就業促進事業
 - ①ナースバンク事業 ナースセンターだより(年4回)
 - ②ナースセンター事業推進委員会
 - ③就労環境改善事業
 - ・多様な勤務形態導入研修(WLB推進ワークショップ)(2日間)
 - ・就労環境改善相談・指導者派遣事業(アドバイザー派遣)
 - (2) 離職防止対策事業
 - ①「ナース相談窓口」
 - (3) 「看護の心」普及啓発
 - ①看護週間事業
(ふれあい看護体験・各地区支部での一日まちの保健室)
 - ②看護職への進路相談強化(看護の出前講座)
 - (4) 看護職の健康管理
 - ①看護職のメンタルサポート

- ②看護職の喫煙問題に関すること
- 2) 潜在看護職員復職支援研修事業
 - ①潜在看護職員復職支援研修
(座学・技術演習・病院実習)(5日間)
 - ②ハローワークとの連携(行政と共に)
- 3) 「雇用の質」向上の企画委員会への参加
- 4) 夜勤・交代制勤務のガイドラインの普及
オンデマンド配信研修
 - ①労働者として知っておきたい労働基準法の基礎知識
9/24(火)
 - ②看護職の夜勤・交代制勤務ガイドラインの「勤務編成の基準」11/12(火)

2. 政策への参加

行政や県議会等への要望

III. 看護に係る調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善等に関する事業

1. 保健師職能委員会活動

- 1) 職能集会 平成25年9月28日(土)
講演「保健師活動指針について」
- 2) 交流会開催
- 3) 保健師の人材育成
 - (1) 「保健指導ミーティング事業」(日本看護協会助成事業)
- 4) 組織強化への対策
 - (1) 「保健師職能だより」発行(年3回)
 - (2) 各職能委員より職能委員会の報告の実施
- 5) まちの保健室への協力

2. 助産師職能委員会活動

- 1) 職能集会 平成25年9月7日(土)
- 2) 助産師研修会開催 2回
 - ①新人助産師研修(3日間)(再掲)
 - ②7月27日(土)「周産期におけるメンタルケアについて」
- 3) 小委員会活動
 - (1) 災害マニュアルの検討
 - (2) 助産師ラダーについて
- 4) 思春期教育
 - (1) 思春期教育出前教室の開催 3回
- 5) まちの保健室への協力

3. 看護師職能Ⅰ・Ⅱ合同活動

- 1) 職能集会 平成25年9月7日(土)
テーマ「認知症ライフサポートへの取り組み」

3-1. 看護師職能Ⅰ

- 1) 准看護師研修会開催
- 2) 専門看護師・認定看護師交流会開催
- 3) 夜勤交替制に関する事
 - (1) 実態調査の結果から取り組みの好事例の報告
 - (2) 夜勤・交代制勤務に関するガイドラインの普及
- 4) 看護職の出前講座(中学校等)
- 5) 男性看護師交流会
- 6) 「特定行為に係る看護師の研修制度」に関する情報提供と周知
 - (1) 「特定行為に係る看護師の研修制度」研修会

3 - 2. 看護師職能Ⅱ

- 1) 介護・福祉施設への出前講座 (2～3回)
テーマ「安らかな看取りのために」
- 2) 介護・福祉関係施設・訪問看護師に関わる研修
4. 三職能合同研修会
三職能合同研修会 平成 25 年 9 月 7 日 (土)
テーマ「職域・職能の連携を図ろう」
5. 認定看護管理者活動への支援
 - (1) 和歌山県内の看護管理上の課題調査結果を「看護業務研究会」等で報告
 - (2) 看護管理上の課題調査結果をもとに対策を検討
6. 医療安全に関する事業
 - 1) 医療安全管理者研修 (7 日間) の実施
 - 2) 医療安全ネットワークシステムの構築
 - 3) 医療安全に関する相談対応・情報提供
 - (1) 黒潮に掲載「医療安全数珠つなぎ」
 - (2) HP に情報提供
 - (3) 看護職賠償責任保険の普及

IV. 地域ケアサービスの推進に関する事業

1. 県民の健康づくり
- 1) 「まちの保健室」事業
 - (1) まちの保健室 5 回
- 2) 看護の心普及事業
 - (1) 看護週間事業 (再掲)
 - ①ふれあい看護体験事業
 - ②看護の日記念事業 5 月 18 日 (土)
 - ③「一日まちの保健室」開催 (8 地区支部の実施)
- 3) 老人看護月間行事 (8 地区支部の実施)
 - (1) 「出前健康チェック」等
- 4) 訪問看護推進事業 (県受託)
 - (1) 訪問看護推進協議会開催
 - (2) 訪問看護間の相互研修 (管理者等) 3 日間
 - (3) 医療機関に勤務する看護師の研修 3 日間
- 5) 和歌山県自殺対策緊急強化基金事業【県受託】
 - (1) 講演会開催
 - (2) なやみの電話相談

V. 日本看護協会との協力及び連携に関する事業

1. 日本看護協会との連携
- 1) 日本看護協会主催の会議
 - (1) 通常総会・全国職能別交流集会 6/4・5・6
 - (2) 全国職能委員長会
 - (3) 理事会 木村会長
 - (4) 全国法人会員会
 - (5) 各担当学会議
 - ・社会経済福祉担当学会議
 - ・拡大医療安全推進会議
 - ・教育担当学会議
 - ・災害看護担当学会議
 - ・ナースセンター担当学会議

2. 日本看護協会重点事業への協力
・看護師特定能力認証制度の情報提供と制度の推進

VI. その他本会目的達成のために必要な事業

1. 組織強化に関する事業
 - 1) 会員数の増加・拡大
 - (1) 入会案内等のパンフレット作成
 - (2) ホームページの充実
 - (3) 病院協会 新人職員オリエンテーション
 - (4) 新人看護職員オリエンテーション (年 2 回)
6/28 日 (金)・7/10 日 (水)
 - (5) 各看護学校各行事への参加
 - 2) 地区支部との連携及び支援
 - (1) 施設代表者会議 年 2 回
 - 3) 会員サービスの充実
 - (1) ホームページ等での情報提供
 - (2) 会員からの問い合わせ・相談対応
 - (3) 会員の福利厚生 (表彰・慶弔見舞・災害見舞等)
- 4) 新看護研修センター建設に関する検討
2. 円滑な組織運営
 - 1) 諸会議の開催
 - (1) 総会 平成 25 年 6 月 22 日 (土)
場所：県民文化会館
 - (2) 常務理事会
 - (3) 理事会
 - (4) 支部長会議
 - (5) 理事・各委員長合同会議 (年 2 回)
 - (6) 代議員研修会 平成 25 年 5 月 15 日 (水)
 - (7) 監査 (年 2 回)
 - (8) 各委員会
 - ①各職能委員会
 - ②各委員会
 - 2) 広報
 - (1) 和歌山県看護協会会報「黒潮」発行 (年 4 回)
 - (2) ホームページの充実及び閲覧の推進
3. 災害時の看護支援活動
 - 1) 災害支援ナースの育成及び登録の推進
 - 2) 県看護協会・地区支部のネットワークの強化及び合同防災訓練
 - 3) 近畿地区看護協会災害支援ネットワークの構築
 - 4) 災害支援ナース指導者育成 1 名
 - 5) 災害看護活動に必要な物品の整備・購入
 - 6) 災害支援ナースの身分の保障 (障害保険の加入)
 - 7) 日本看護協会との合同防災訓練への参加
 - 8) 市・県行政との連携
 - (1) 和歌山県防災会議に参加
 - (2) 和歌山県・市等への災害医療対策会議への参画
4. 関係団体共同事業参加
 - 1) 関係機関の委員会および協議会等への参画
 - 2) 後援・協賛依頼への協力

平成 25 年度 収支予算書

平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			0
特定資産運用益	20,000	30,000	△ 10,000
特定資産受取利息	20,000	30,000	△ 10,000
受取会費	54,000,000	54,000,000	0
受取会費	54,000,000	54,000,000	0
受取建設資金準備積立金	16,200,000	16,200,000	0
受取建設資金準備積立金	16,200,000	16,200,000	0
受取入会金	4,000,000	4,700,000	△ 700,000
受取新入会金	4,000,000	4,700,000	△ 700,000
事業収益	38,551,000	31,054,000	7,497,000
受取受講料	26,000,000	29,514,000	△ 3,514,000
受取負担金	10,861,000	0	10,861,000
受取会館賃貸料	410,000	410,000	0
受取福祉年金事務費	330,000	330,000	0
受取手数料	950,000	800,000	150,000
受取補助金等	25,313,000	41,845,000	△ 16,532,000
日本看護協会助成金	7,986,000	8,676,000	△ 690,000
日本看護協会委託金	642,000	649,000	△ 7,000
団体受取助成金	100,000	100,000	0
和歌山県ナースセンター委託費	9,261,000	8,510,000	751,000
潜在看護職員復職支援事業委託費	1,481,000	10,000,000	△ 8,519,000
自殺対策事業補助金	1,000,000	1,000,000	0
地域再生事業補助金	2,000,000	2,000,000	0
保健指導ミテック事業委託費	350,000	350,000	0
実習指導者講習会事業委託費	2,493,000	0	2,493,000
新人看護職員研修事業委託費	0	2,194,000	△ 2,194,000
介護職員吸たん研修事業委託費	0	1,150,000	△ 1,150,000
和歌山県看護職員養成講習会事業委託費	0	7,216,000	△ 7,216,000
受取寄付金	800,000	800,000	0
受取寄付金	800,000	800,000	0
雑収入	140,000	140,000	0
受取利息	10,000	10,000	0
その他雑収入	130,000	130,000	0
経常収益計	139,024,000	148,769,000	△ 9,745,000
(2) 経常費用			0
事業費	97,571,000	96,882,000	689,000
役員報酬	9,000,000	5,500,000	3,500,000
給料手当	14,960,000	7,700,000	7,260,000
臨時雇賃金	5,040,000	5,054,000	△ 14,000
法定福利費	3,551,000	2,500,000	1,051,000
福利厚生費	402,000	511,000	△ 109,000
広報啓発費	1,500,000	1,320,000	180,000
旅費交通費	14,188,000	15,688,000	△ 1,500,000
通信運搬費	4,580,000	4,283,000	297,000
減価償却費	1,540,000	1,817,000	△ 277,000
消耗品費	4,320,000	8,041,000	△ 3,721,000
印刷製本費	6,520,000	10,338,000	△ 3,818,000
図書整備費	500,000	500,000	0

科 目	収益事業	内部取引 消 去	合 計
賃借料	4,170,000	1,525,000	2,645,000
調査研究費	100,000	400,000	△ 300,000
諸謝金	24,000,000	29,695,000	△ 5,695,000
委託料	2,880,000	0	2,880,000
会議費	300,000	0	300,000
支払助成金	10,000	2,000,000	△ 1,990,000
支払寄付金	10,000	10,000	0
管理費	40,379,000	49,235,000	△ 8,856,000
役員報酬	7,500,000	5,500,000	2,000,000
給料手当	7,040,000	12,000,000	△ 4,960,000
臨時雇賃金	1,400,000	100,000	1,300,000
退職給付費	552,000	857,000	△ 305,000
法定福利費	1,749,000	2,800,000	△ 1,051,000
福利厚生費	198,000	100,000	98,000
渉外費	500,000	600,000	△ 100,000
会議費	200,000	200,000	0
旅費交通費	300,000	500,000	△ 200,000
通信運搬費	500,000	700,000	△ 200,000
減価償却費	1,540,000	1,817,000	△ 277,000
消耗什器備品費	1,000,000	2,000,000	△ 1,000,000
消耗品費	3,000,000	600,000	2,400,000
修繕費	2,000,000	3,000,000	△ 1,000,000
印刷製本費	1,500,000	1,500,000	0
光熱水費	1,800,000	1,750,000	50,000
賃借料	1,000,000	4,156,000	△ 3,156,000
会館委託料	2,200,000	2,355,000	△ 155,000
保険料	400,000	400,000	0
諸謝金	1,000,000	2,000,000	△ 1,000,000
租税公課費	3,500,000	3,500,000	0
情報処理費	1,000,000	2,000,000	△ 1,000,000
雑費	500,000	800,000	△ 300,000
経常費用計	137,950,000	146,117,000	△ 8,167,000
評価損益等調整前当期経常増減額	1,074,000	2,653,000	△ 1,579,000
評価損益等計		0	0
当期経常増減額	1,074,000	2,652,000	△ 1,578,000
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計		0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計		0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	1,074,000	2,652,000	△ 1,578,000
一般正味財産期首残高	0	0	0
一般正味財産期末残高	1,074,000	2,652,000	△ 1,578,000
II 指定正味財産増減の部			0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	1,074,000	2,652,000	△ 1,578,000

職能委員会報告

保健師職能委員会

委員長 高垣 通代

【活動目標】

保健師の連携強化・ネットワークの構築を図り、いきいきと元気に活動する。

【活動内容】

- 職能委員会開催回数：10回開催
- 職能集会：平成24年9月8日開催
 - ・場所：プラザホープ
 - ・参加者数：38名
 - ・講演：テーマ「地域の中で生きる保健師活動」
講師：鹿児島県肝属郡肝付町役場 福祉課保健師 能勢 佳子氏
 - ・報告「24年度日本看護協会および県看護協会職能委員会活動方針について」
保健師職能委員長：高垣 通代
- 三職能合同研修会：平成24年9月8日開催
 - ・場所：プラザホープ
 - ・参加者数：242名（うち保健師36名）
 - ・講演：テーマ「災害への対応」
～災害発生時における看護職の連携について～
講師：和歌山県福祉保健部健康局 医務課 地域医療班 班長 貞志 幸生氏
 - ・シンポジウム：テーマ「被災時における看護職の水平連携について」
シンポジスト
保健師の立場から：那智勝浦町役場 喜田 弘美氏
助産師の立場から：新宮医療センター 植田 啓子氏
病院看護師の立場から：那智勝浦町立病院 佐藤 泰子氏
訪問看護師の立場から：田辺市社会福祉協議会 訪問看護龍神事業所 久保 智香氏
- 日本看護協会と協働（平成24年度保健指導ミーティング事業）：平成24年12月2日開催
 - ・場所：和歌山県看護研修センター
 - ・参加者数：45名
 - ・講演：テーマ「災害時の保健指導を考えよう」
演題「災害時における保健師の役割」
講師：国立保健医療科学院 生涯健康研究部 上席主任研究官 奥田 博子氏
 - ・実践事例発表、グループ討議

コーディネーター：和歌山県立医科大学保健看護学部 教授 山田 和子氏
実践事例発表

台風12号による被災者への健康支援

（市町村の役割）：日高川町役場 尾崎 久美氏

災害時の健康支援（保健所の役割）：御坊保健所 西岡 倫代氏

○報告会・交流会「保健師活動の構築に向けて」：25年3月2日開催

・場所：和歌山県看護研修センター

・参加者数：40名

・報告（日本看護協会事業参加報告）

社会の変化に対応した保健師活動の構築事業：

上富田町 木村陽子氏、坂本真理子氏

中堅期保健師コンサルテーションプログラム：保健師職能委員 富田 容枝氏

・講演：テーマ「保健師活動の原点」～後輩に伝えたい思い～

講師：元 和歌山看護専門学校 副学校長 堀内 恵美子氏

○三職能委員長情報交換会（随時）

三職能合同研修会や職能間の連携について協議した。特に三職能合同研修会の今後の開催について協議した。

○地域住民の健康増進

「まちの保健室」への協力

○会員増に関する対策

①市町村保健師研修会に参加し、協会活動、入会案内、保健指導ミーティング事業について紹介や報告を行った。

②保健師職能だよりの発行：5号、6号、7号

③和歌山県看護協会ホームページへの参加

④職能委員会報告を行い、委員会活動、協会活動を紹介する。（職能委員より管内全市町村に）

【今後の課題】

①職能便り等を利用してしながら、協会活動を多くの保健師に伝え、加入率の増加を図る。

②事業所保健師との交流の促進を図る。

③26年度中堅期コンサルテーション事業の開催に向けて、関係機関との連携を図る。

④「保健指導ミーティング事業」の実施を予定し、研修体制の充実を図る。

助産師職能委員会

委員長 杭ノ瀬 結子

【重点事業】

助産師の積極的な活用による安全で安心な妊娠・出産・育児環境の整備

【活動目標】

1. 助産実践能力向上の為に、キャリアアップ研修を開催する。
2. 助産師の専門性を発揮するために助産外来の推進を図る。
3. 助産師職能として思春期教育出前事業、地域に根ざした活動を展開する。

【活動内容】

- 委員会回数：10回
- 1. 助産師職能集会の開催
 - 日時：9月8日（土）10時から12時00分
 - 場所：プラザホープ
 - 参加者：57名（内訳：助産師43名、助産師学生14名）
職能委員7名
 - 内容：1）報告：①平成24年度の助産師活動報告
②助産外来アンケート調査報告
 - 2）講演：テーマ「助産師を取り巻く現状と課題」
講師：日本看護協会助産師職能常任理事 福井トシ子
日本の助産師が置かれている現状をいろいろな切り口から話され、一人一人の助産師が現場で自律し、しっかりと妊産婦を支えていかなばならないことが良く理解できた。また、福井理事からたくさんのパワーを頂き、明日からの鋭気に繋げることが出来た研修会であった。
- 2. 三職能合同研修会
 - 日時：9月8日（土）13時30分から15時30分
 - 場所：プラザホープ
 - 参加者：全体参加者242名（助産師21名参加）
 - 内容：シンポジウム テーマ「被災時における看護職の水平連携」
シンポジスト：保健師、助産師、病院看護師、訪問看護師の対場から各4名のシンポジストが発表した。
助産師職能からは新宮医療センターの植田啓子さんが水害時の状況を聞き取り調査し、助産師として母子の安全をどのように確保し、安心感につなげたのかについて発表した。

パワーポイントは見やすく、解りやすくまとめられていた。また、インタビュー等で被災者の生の声が活かされ、苦勞が読み取れる内容であった。看護職として積極的に災害対策に取り組んで行くことが必要であることを実感したシンポジウムであった。

3. 助産師研修会の開催

1) 助産師研修会Ⅰ

日時：7月14日（土）13時30分から15時30分

場所：和歌山県看護研修センター

参加者：55名（内訳：助産師44名、助産師学生10名）

職能委員7名

内容：「胎児心拍モニタリングの判読について」

講師：和歌山県立医科大学病院 松岡 俊英先生

2) 助産師研修会Ⅱ

日時：2月2日（土）13時から16時

場所：和歌山県看護研修センター

参加者：42名（内訳：助産師41名）、職能委員7名

内容：「フリースタイル分娩介助」

講師：めぐみ助産院 岩田 塔子助産師

4. 近畿ブロック助産師研修会

（主催は日本看護協会近畿地区助産師職能委員、並びに近畿地区助産師職能委員長）

日時：10月27日（土）13時00分から16時00分

場所：大阪府看護協会

参加者：和歌山県から27名、和歌山県助産師職能委員5名、

全体で300名参加

内容：「周産期における災害対策シンポジウム」

講演：「災害からの提言 -東日本大震災で何が起き、どう対応したか-」

講師：スズキ記念病院 看護部長 八木橋香津代

シンポジウム テーマ：「被災地の女性や母児を守るための地域活動」

シンポジスト

「災害時の施設支援」～母児を守るネットワーク～

日本赤十字社医療センター 看護師長 中根 直子

「被災地の女性や母児のケアのための支援構築」

神戸市看護大学教授 高田 昌代

5. 小委員会活動
 ①助産外来：昨年度からの活動であり、アンケート集計し、職能集会で発表した。
 ②産科領域における災害マニュアルの検討：検討には至らなかった。
 ③助産師キャリアパスの作成：12月からキャリアパスの学習、意見交換を行い、仮想事例としてまとめた。
6. 思春期教育
 ①12月16日(水)紀之川中学校の三年生 160名に命の出前教育を実施した。受講後のアンケートには、「命が大切」、「感謝を忘れない」等の感動の言葉をたくさん頂くことが出来た。また、これらの感動

を与えられたことに対して、逆に学生からパワーや遣り甲斐を頂くことに繋がった。今年は1校だけにとどまったが、次年度は職能をアピールしていく為にも、地域の学校に協力していきたいと考える。

7. まちの保健室への協力
 ①今年度は5回協力した。助産師ブースを機能させ、協力をしていく
 ②セーフマザーフード基金を呼びかけた。
 ・平成24年9月28日12,266円 和歌山県看護協会からICMに送金して頂いた。
 ・平成25年3月8日771円 和歌山県看護協会からICMに送金して頂いた。

看護師職能委員会 I

委員長 東 直子

【活動目標】

- 看護の質向上を目指して、看護専門職としての能力開発を促進する
- 「働き続けられる職場作り」ワークライフバランスの実現
- 看護協会の活動PRを行い看護職能の組織強化を図る
- 三職能の連携を強化する

【活動内容】

○回数 8回

1. 看護師職能 I・II 集会・三職能合同研修会について以下の通り実施した。

1) 看護師職能 I・II 集会

平成24年9月8日(土) 10:00～12:00 参加者 204名

テーマ：病院と地域との看看連携を考える

座長：トータルケアセンターなだい 取締役部長 灘井 恭子
 シンポジスト

日本赤十字社和歌山医療センター 看護相談室 藤本 未央
 訪問看護ステーションエンゼル 管理者 鬼塚 幸幼
 グループホーム太陽のおうち 施設長 室 みち子

2) 三職能合同研修会

平成24年9月8日(土) 13:00～15:45 参加者 242名

テーマ：「災害への対応」

～災害発生時における看護職の連携について～

講演：和歌山県地域防災計画について

～医療関係について～

講師：和歌山県福祉保健部健康局 医務課 地域医療班
 班長 貴志 幸生

シンポジウム

テーマ：「被災時における看護職の水平連携について」

シンポジスト

保健師の立場から：那智勝浦町役場 保健師 喜田 弘美
 助産師の立場から：新宮医療センター 助産師 植田 啓子
 病院看護師の立場から：那智勝浦町立病院 総師長 佐藤 素子
 訪問看護師の立場から：田辺市社会福祉協議会 訪問看護
 電神事業所 管理者 久保 智香

2. 専門看護師・認定看護師研修会

平成24年10月6日(土) 13:00～16:00 参加者 62名

目的：チーム医療を推進する新たな枠組みの制度化、法制化を見守る
 えての現状を知り、専門看護師・認定看護師が活動、活躍できる機会とする。

講演：「看護師特定能力認証制度について」

日本看護協会常任理事 洪 愛子
 「看護師特定行為・業務試行事業申請と事業対象看護師受け入れと現状」
 南和歌山医療センター 看護部長 奥田 淳子

3. 准看護師研修会

平成25年1月12日(土) 13:00～16:00 参加者 56名

目的：看護の責任と専門性を発揮するための知識と技術を修得し、
 看護の質の向上につなげる

講演：「看護の動向について」和歌山県看護協会 会長 木村 佐多子
 「褥瘡・排泄ケア」公立那賀病院 皮膚・排泄ケア認定看護師
 久保 乃英

4. 「夜勤・交代制勤務に関する実態調査」を実施した(調査結果資料参照)

目的：和歌山県における夜勤・交代制勤務の実情を把握することによって、
 夜勤のリスクマネジメント、働きやすい環境づくりにつなげていくための課題を見出す。

調査期間：2013年2月8日～2月28日

調査対象：和歌山県看護協会に入会している20床以上の病院

看護部長、看護師長 2名

5. 黒潮への掲載を行う 4回

【今後の課題】

看護師職能委員会Iの機能として、①各職能の抱えている問題から、
 今後、取り組むべき課題を整理する課題発見機能 ②本会の活動方
 針や重点事業等を会員に周知し、現場の意見を集約する意見集約機
 能があげられる。平成25年度は、2025年を見据えた、看護職の
 役割拡大の推進。健康で安全に働き続けられる職場作りを目指し、
 夜勤・交代制勤務に関するガイドラインの普及と24年度実施した、
 実態調査結果を分析し、課題に取り組む。また、ネットワークを構
 築し情報・意見集約に努め、協会への提案を行う。

看護師職能委員会 II

委員長 澤 越 純子

【活動目標】

介護・福祉関係施設に働く看護職の資質の向上

1. 介護・福祉関係施設・在宅領域のネットワーク作り

2. 介護施設における看護の機能強化

3. 看護協会活動のPRを行い会員の増加と組織強化

4. 三職能の連携の強化

【活動内容】

○回数：委員会 I・II 合同会議 5回、IIのみで 4回開催

1-1) 看護師職能集会開催 9月8日(土) 午前 参加者：204名

内容：「つなぐ看護を考える」

ねらい：看護専門職として役割拡大が期待される中、病院から
 地域へ連携した看護を実践するための足がかりとする

シンポジウム

テーマ：病院と地域との看看連携を考える

座長：トータルケアセンターなだい 取締役部長

灘井 京子先生

シンポジスト

日本赤十字和歌山医療センター 看護相談室 藤本未央
 訪問看護ステーションエンゼル 管理者 鬼塚幸幼
 グループホーム太陽のおうち 施設長 室みち子

2-1) 23年度の介護施設におけるアンケート調査の結果分析

2-2) 「系統的な研修プログラムのご提案」の冊子の配布

介護・福祉関係施設・老健協会会長・地区支部長に配布 180部

2-3) 介護・福祉施設への出前研修 1月9日(水) 18時～19時

参加施設：老健2施設・特養1施設

参加者：27名

3-1) 介護・福祉施設への出前研修に行った先で、看護協会の活動内
 容をお知らせするとともに入会促進の案内を行った

4-1) 三職能合同研修会開催 9月8日(土) 午後 参加者：242名

テーマ：災害への対応～災害発生時における看護職の連携について～
 ねらい：平成23年3月11日、東日本大震災の発生に引き続
 き、和歌山県でも台風12号の発生により多大な被害
 を被った。また、近々予想される東南海地震発生に備
 え、県下の看護職が一同に介して和歌山県における地
 域防災計画を学習し、被災時における看護職の連携を
 図ることを目指す

基調講演

テーマ：災害時の医療支援活動及び和歌山県災害医療体制構築

講師：和歌山県福祉保健部健康局 医務課 地域医療班長

貴志 幸生先生

シンポジウム

テーマ：被災時における看護職の水平連携について

シンポジスト

保健師の立場から：那智勝浦町役場 喜田弘美
 助産師の立場から：新宮医療センター 植田啓子
 病院看護師の立場から：那智勝浦町立病院 佐藤素子
 訪問看護師の立場から：田辺市社会福祉協議会
 訪問看護龍神事業所 久保智香

【今後の課題】

①介護・福祉施設、在宅領域の会員数が少なく、施設内外のネットワ
 ークが少ない。

②看護職の少ない配置数で、専門知識・技術を習得する機会が少ない。

常任委員会報告

社会経済福祉委員会

委員長 前田悦子

【活動目標】

1. 看護職がいきいきと働き続けられる職場作りに向けて、「WLB推進ワークショップ」の取り組みを支援する。
2. 看護職への禁煙推進活動

【活動内容】

○回数：委員会開催回数 8回

1. 今年度は、WLBを重点的に取り組み、第2回開催の「WLB推進ワークショップ」の事業運営についてWLB推進委員会をサポートした。

4月	・WLB推進委員会へ参加 参加施設は23年度から引き続き紀和病院・恵友病院・国保日高総合病院・白浜はまゆう病院の4施設に加え、橋本市民病院、海南市民病院の2施設の計6施設
5月	・平成24年度委員会年間計画の立案 ・世界禁煙デーフォーラム参加報告 ・黒潮への掲載文を作成 ・施設における看護師向け禁煙対策の紹介依頼文書を作成 ・第1回WLB合同会議へ参加 WLB参加施設と担当委員、WLB推進委員、支援者との打ち合わせ 支援者よりインデックス調査についての説明
6月	・禁煙アドバイザー育成講習会参加報告 ・WLBワークショップに向けての準備
8月	・黒潮掲載原稿を施設へ依頼 ・第2回WLB合同会議へ参加 WLB推進ワークショップ（8月27・28日に開催）に向けての準備と最終確認（WLB推進ワークショップ開催） ①WLBの基本的な考え方について ②看護職のWLBインデックス調査及び調査結果の見方について ③WLB実現のためのアクションプランについて 各施設に分かれ、インデックス調査結果の分析から問題、課題を明確にしアクションプランを作成。それに基づいて全体討議。

10月	・黒潮掲載原稿を施設へ依頼 ・第3回WLB合同会議へ参加 フォローアップワークショップ（平成25年1月23日開催）プログラムについての打ち合わせ
12月	・WLB合同会議への参加 アクションプランの確認・見直しについて フォローアップワークショップの打ち合わせ ・施設訪問の報告 ・第122号黒潮掲載原稿施設の確認
1月	・第3回WLBフォローアップワークショップ開催 各施設での取り組みの報告・討議・意見交換
2月	・平成24年度事業活動のまとめ ・平成25年度事業活動計画（案）の作成

2. 看護職の禁煙推進活動

- 1) 和歌山県看護協会会報「黒潮」へ禁煙推進記事を下記の内容で掲載した。
 - ①第120号へ「世界禁煙デーフォーラム参加報告」
 - ②第121号へ「職員の禁煙対策について」
(和歌山労災病院 看護部長 木村 美登利)
 - ③第122号へ「南和歌山医療センターにおける職員の禁煙推進」
(NHO 南和歌山医療センター内科医長 公衆衛生 担当 森岡 聖次先生)

【今後の課題】

1. 看護職の職場定着に向けて、WLB推進ワークショップへの取り組みの継続
2. 看護職への禁煙推進活動の継続

教育委員会

委員長 谷川聖子

【活動目標】

「看護専門職としての知識・技術を深め、看護実践能力の向上に必要な教育の企画・運営を行うことができる」を目標に、県内看護職の継続教育を企画・運営し、地域住民の皆様に貢献できる看護職育成の一助となるよう努めた。

【活動内容】

○教育委員会開催回数：12回

- ・研修の企画・運営・評価を中に行った。教育計画については、1月中にほぼ完成した。
- ・研修は27テーマ（37日）行った。
- ・H23年度から開催している新人対象の技術研修では教育委員が指導者となり、新人に対して実践指導を行うと共に今後も活用できるようにマニュアルの整理も行った。
- ・三職能に精通した一般的な研修を担当した。
- ・会員がほぼ和歌山市内に集中していることから、和歌山市内での研修中心となるが、受講者の要望に応え、紀南地域でも6回の研修を開催した。

【今後の課題】

- ・研修を担当する中では、受講態度も問題としてとらえ、受講のきっかけ・動機を支援することの必要性も検討した。今後とも受講者が自ら受講したいと思えるような魅力ある研修企画・運営を行うことが必要である。
- ・研修地区については、和歌山市内を中心に、紀南地区、紀北地区などの検討も継続して行う。
- ・職能やリスクなど、教育委員会だけでは担当できない部門研修に関しても充実していく必要があるため、委員会間の連携の強化が必要である。
- ・教育委員会の任期の開始時期は現在4月である。5月の新人技術研修では、前年度メンバーが企画したものを、新年度のメンバーが担当することとなり、引継ぎが円滑でないことが問題である。このことから、新人技術研修の運営等の検討が必要である。

広報委員会

委員長 池下恵

【活動目標】

1. 和歌山県看護協会の動向、タイムリーな情報、最新情報の提供
2. 読者参加型の紙面作り

【活動内容】

○回数：8回

1. 和歌山県看護協会会報「黒潮」の発行 4回（119～122号）
2. 和歌山県看護協会の動き、各職能委員のコーナー、知って得する

看護協会だより等を継続した

3. 「私の○○」「リレーエッセイ友達の輪」「医療安全数珠つなぎ」「My Hospital」などのコーナーを継続
4. トピックス2012・2013 専門認定看護師のコーナー最新情報の提供
5. 広報誌への興味をより深めていただけるように検討をおこなった今年度は、読者の皆様に癒しの提供も考え動物の写真をとりました。また、今以上広報誌へ興味を深めていただけるような紙面作

りを考え、表紙写真レイアウトの工夫、プレゼント応募ハガキ読者の声を掲載するなどの、紙面の工夫・レイアウトに関しても吟味を重ねた

6. 和歌山県看護協会リーフレット作成のための企画

【今後の課題】

- ・本誌へのご意見・ご要望を参考に取り入れる
- ・会員の皆様がより参加でき、タイムリーな情報で興味を持っていただけるような紙面についての検討
- ・本誌への感想等をもっと提供してもらえる方法の検討

看護業務委員会

委員長 池田 亜矢子

【活動目標】

- ・和歌山県下における看護師主導で行なっている看護外来の設置状況の実態を把握し、今後専門性の高い看護外来の普及につなげていく。

【活動内容】

- 委員会開催回数：11回
- ・和歌山県下における看護外来設置状況に関するアンケート調査を実施した。

【結果】

- ・アンケート配布110施設 回収61施設 (55.4%)
- ・「看護外来を設置している」と答えた施設は、12施設であり、看護外来数は27であった。「今後の設置を検討している」と答えたのが15施設である。
- ・看護外来開設の多い順は、「フットケア」、「ストーマ・皮膚排泄ケア」、「助産師外来」が各5件、次いで「糖尿病」が4件、「母乳外来

が3件であった。

- ・看護外来の設置による成果の実感については、すべての施設が成果の実感があると答えた。内容として、「患者、家族より感謝の言葉を頂いた」「自己管理ができるようになった」「患者、家族の精神的不安が軽減した」「早期発見・再発予防・症状悪化予防ができた」であった。
- ・今後開設検討している看護外来は「フットケア」「がん看護」「緩和ケア」「生活習慣病」という回答であった。

【まとめ】

- ・看護外来の設置や増設を検討している施設が多いこと、また看護外来設置における成果を、すべての施設が実感していることから、看護外来の設置を進めていくことが、これからの患者のニーズに応えることだと考える。今後、看護外来を推進していく課題として、①人員確保 ②専門看護師・認定看護師等の人材育成 ③県民にむけての看護外来の普及活動があげられた。

医療安全対策委員会

委員長 中山 美代子

【活動目標】

1. 医療安全管理者養成研修会を企画、開催し、円滑な運営を実施する。
2. 県内医療安全管理者養成研修会修了者交流会およびフォローアップ研修会を企画、開催し、県内医療安全管理者のネットワークの構築を推進する。
3. 研修会、交流会の企画・運営の評価を行ない、次年度の計画に活かす。

【活動内容】

1. 委員会開催回数：9回 (13:30～17:00)
 - 1) 検討内容
医療安全管理者養成研修会、県内医療安全管理者養成研修会修了者交流会およびフォローアップ研修会の企画、運営、および研修後の評価について検討をおこなった。
2. 医療安全管理者養成研修会 (全7回修了した方に修了証を発行)
近畿地区リスクマネジャー交流会の申し合わせ (研修時間40時間以上) に準じ、医療現場における安全管理を効果的に行い、

医療の質を保証することができる医療安全管理者を養成するねらいで6時間×7日間の研修会を開催した。終了者は51名であった。研修後のアンケート結果からは、どの研修日も目標はほぼ達成できた、という回答を得た。

3. 県内医療安全管理者養成研修会修了者交流会およびフォローアップ研修
フォローアップ研修は、「医療事故の分析力を高める」「レジリエンスな組織づくり」の2つのテーマで開催した。交流会は、「地域ネットワーク構築に向けて」を目的に開催した。

【今後の課題】

1. 研修や交流会を紀北と紀南で開催できないか、もしくは、地区支部単位で医療安全研修ができないかという意見が多く、今後の検討課題である。
2. 看護協会 HP に医療安全のページを作り、専従 (専任) 医療安全管理者の公的アドレスの公開などを手始めとし、医療安全管理者の相互支援が可能になるようなネットワークの構築が課題である。

災害看護対策委員会

委員長 石野 有香

【活動目標】

1. 災害支援ナースの登録ネットワークシステムの構築
 - ・災害支援ナース登録
 - ・災害支援ナースマニュアル完成
2. 災害支援ナースの育成
 - ・災害看護研修の企画、実施
 - ・災害看護フォローアップ研修会の企画、実施

【活動内容】

1. 回数：委員会開催10回
(6/7 7/13 8/7 9/24 10/26 11/19 12/13 1/22 2/22 3/15)
 - ・災害支援ナース登録申請書完成、登録申請書配布済み、登録開始
 - ・災害支援ナースマニュアル作成中
2. その他
 - ・8/10
平成24年度 都道府県看護協会災害看護担当者会議 (日本看護協会に於いて)
黒田専務理事と委員の石野が出席
 - ・9/26 9/27 9/28
平成24年度 都道府県看護協会との災害支援ナース派遣調整合同訓練

・11/8 11/9

災害看護研修Ⅰ
衛星通信研修：災害医療と看護 (基礎編) 修了者数 54名

・1/10 1/11

災害看護研修Ⅱ
災害支援ナース育成研修 修了者数 37名

・2/22

災害看護フォローアップ研修会

目的・ねらい：①災害発生時の看護協会の役割を知る

②災害支援ナースの活動や役割を再認識し、今後の活動に活かす

③災害支援ナースのネットワークづくりや相互支援を図る

対象者：災害看護研修Ⅱの修了者と災害支援活動従事体験者
参加者数：22名

【今後の課題】

- ・災害支援ナースマニュアルの完成
- ・災害支援ナース登録管理等について

特別委員会報告

在宅看護推進委員会

委員長 奥田 資子

【活動目標】

在宅看護に関する看護師の質向上と看護連携の強化

【活動内容】

○回数：12回

退院支援の研修を新たに計画 H24年11月28日(水曜)
地域連携室と、訪問看護ステーションだけが在宅医療を担っているのではないので、和歌山県の、あらゆる施設、開業医、潜在看護師など、

看護協会非会員についても、関わりや、連携を深め、お互いの仕事を理解しあうための交流会を持つようにした。

【今後の課題】

看護協会非会員全員に対してのアプローチが困難であることから、今回の研修から多数の参加が望めなかったため、今後、広く看護連携を強化し、看護協会会員を増やすためにも、非会員に対してのアプローチを検討していかなければならない。

看護研修センター建設推進委員会

委員長 塩路 有理

【活動目標】

新看護研修センターの基本方針踏まえ、将来の展望を見据えた看護研修センター建設を推進して行く

【活動内容】

○委員会開催回数：8回

海南市南赤坂のトランスコスモス購入の件は、白紙となり、早急に適切な物件を探し検討した上で皆様に提示できるように今年度は8回の委員会を開催した。

海南市南赤坂周辺の土地、和歌山市内の数か所の土地を委員会で見学し、メリット・デメリットなどを検討した。また、検討事項については理事会にも報告し、理事の方々にも土地の見学してもらい、意見を頂き参

考にした。

候補地はほぼ絞り込まれてきているので、今後、基本方針を踏まえた上で、適切な土地を提示できるように検討を行う。
(平成25年度に入ってから進展)

トランスコスモスから再度売却の意向が示され、理事会で検討した結果、トランスコスモスを候補地として、総会に提示することになる。

【今後の課題】

看護協会が果たすべき役割とその機能を考え、将来に誇れる看護研修センター建設に向けて推進していく。また、土地購入のめどがついた時点で、建築物の構造や規模、資金計画などを検討するワーキンググループを立ち上げ、建設に向けて円滑な運営を図りたい。

「まちの保健室」運営委員会

委員長 中村 優子

【活動目標】

1. 「まちの保健室」の定着化と共に、地域住民の健康に対する認識を高める。
2. 生活習慣の改善のきっかけづくりと、その改善にむけてのサポートができる。
3. 県民の健康レベルのニーズに応じたコンサルテーション機能が発揮できる。
4. 地域活動拠点を拡大する。

【活動内容】

○回数：12回(運営委員会開催6回「まちの保健室」開催6回)(まとめ)

今年度、「まちの保健室」への参加者総数は623名、平均89名であった。リピーター率は平均11.3%であり徐々に上がってきている。これは、広報手段は前年度と変わらなかったが開催場所を一定化していることや次回開催日を掲示したこと、参加者が次回の日程を覚えていたという声も聞かれた。開始前から待つ参加者には整理券も配布した。参加者数への影響要因では、気候や開催店内の場所や動線があげられる。また、初回参加者では通りすがりでの参加が最も多く、事前広報方法の検討も必要。参加者の年齢は50代以上が52%であった。各計測項目では骨密度測定が好評で特に女性に関心が高かった。健康相談では、今年度も各職能や栄養士の方々の協力を得た。今まで参加者のほぼ全員が相談コーナーを利用されたことで混雑がみられ待ち時間も長くなっていった為、3回目の開催から各測定コーナーでも簡単な値の説明や生活指導のアドバイスを行い、正常値を逸脱し

た方で希望される方や指導が必要と判断した方に相談コーナーを案内した。結果、相談件数集計では受付率39%となり時間に余裕がでた。また開催運営には毎回12名前後の要員が必要で、委員の他に各施設やセカンドキャリアから、のべ40名の協力員に支援をいただいた。

今年度は9月に、初めて和歌山保健所との共催により向陽高校学校祭で「まちの保健室」を開催し、80名の高校生の参加があった。白衣体験や看護への道の説明コーナーが人気を集め、看護に興味を持ったという声がアンケートに寄せられた。

隔月での運営委員会では協力員からの意見や評価・反省の他、アンケート項目の見直しや記入時の老眼鏡の貸し出し等を実行した。今年度アンケート回収率は90%とアップしている。また、集客効果を考えたグッズの配布や測定コーナーに「無料」表示を行うなど検討実施した。

【今後の課題】

- ①アンケートでは看護協会を知らないと答えた方は平均79%で、知っているも活動内容まで知らないは85%であったことから看護協会活動の広報も引き続き検討の必要がある
- ②次年度も高校での開催を計画し看護への関心を高めることで人財育成につなげていく
- ③測定項目では末梢血流測定を希望される声が増えており機器の借用等の検討をする
- ④今後も住民参加型の看護提供システムの定着化を継続していく。また、地域住民の健康をサポートしていくために看護師のコンサルテーションスキルアップを目指していく

近畿地区看護研究学会委員会

委員長 服部 園美

【活動目標】

近畿地区看護研究学会の企画・運営を行ない、学会開催が円滑にできる。

【活動内容】

○回数：13回

平成24年12月7日(金曜日)に和歌山市民会館において近畿地区看護研究学会を開催した。学会のテーマは、国の施策が在宅医療を推進し、在院日数の短縮化が進む中、「退院調整・退院支援」の必要性が課題となっている現状から、「チームで支えよう!退院支援」とした。基調講演のテーマは、「退院支援から問いかけるもの」とし、淀川クリスト病院 地域専門看護師の三輪恭子先生に講演していただいた。パネルディスカッションは、「つなごう、紡ごう、退院支援の輪—それぞれの立場から、今、考える—」をテーマに医師、病院看護師、介護支援専門員、

訪問看護師、患者家族にそれぞれの立場からご発表頂いた。また、リラクゼーションメニューとして「家庭でできるツボ刺激」を実施した。

演題は、48題(口演発表12題、示説36題)で、急性期、終末期、リハビリテーション、在宅支援、精神領域などから応募があり、円滑に進めるためのシステムやツール、現状と課題、看護師の役割など多岐にわたる内容であった。

学会当日は、運営上、会場設営や進行等に関していくつかの反省はあったが、近畿地区2府4県から674名の参加者をお迎えし、研究の成果や情報交換など活発な論議がなされ、盛会に終了することができた。

近畿地区看護研究学会は、昭和56年に開始され、平成7年より都道府県看護協会が主催となり6府県の持ち回りで開催してきたが、今年度の和歌山県での開催を最後に終了することとなった。

日本看護学会学術集会準備委員会

委員長 鈴木 幸子

【活動目標】

第44回日本看護学会—成人看護I—学術集会の企画・運営

【活動内容】

日程：平成25年10月24日(木) 25日(金) 定員1,700名
於：和歌山県民文化会館
テーマ：「いのち輝く急性期看護、未来への創造」
特別講演：「がんを体験して」小西 博之氏（俳優）
教育講演：「実践活動に活かすフィジカルアセスメント」
山内 豊明先生

シンポジウムⅠ：「急性期看護における連携のあり方を考える」
シンポジウムⅡ：「クリティカル領域でのチャレンジ
—特定看護師（仮称）業務試行からの報告—」
交流会Ⅰ：「紀伊半島の大水害に学ぶ」
交流会Ⅱ：「認定看護師実践活動報告」
以上の内容を決定した。

【今後の課題】

学術集会成功のために開催準備スケジュールに沿った活動

認定看護管理者制度委員会報告

認定看護管理者制度教育運営委員会

委員長 高岸 壽美

【活動目標】

認定看護管理者教育課程（セカンドレベル・ファーストレベル）の実施や改善のための検討を行い、教育課程の充実と推進を図り円滑な運営を実施する。

【活動内容】

○回数：運営委員会3回開催

第1回（4月17日）

- ・委員長、副委員長の選任
- ・認定看護管理者制度ファーストレベル教育課程受講者の決定
- ・ファーストレベル学習要項の確認
- ・認定看護管理者制度セカンドレベル教育課程募集要項の確認

第2回（7月30日）

- ・認定看護管理者制度セカンドレベル教育課程受講者決定

- ・認定看護管理者制度ファーストレベル教育課程の進捗状況確認
- ・認定看護管理者制度セカンドレベル修了者「看護管理実践報告会」開催計画確認

第3回（平成25年2月15日）

- ・認定看護管理者制度ファーストレベルおよびセカンドレベル教育課程研修評価
- ・認定看護管理者制度セカンドレベル教育課程カリキュラムについて検討

【今後の課題】

- ・認定看護管理者制度セカンドレベル修了者「管理実践計画報告会」の充実
- ・セカンドレベル受講者の獲得
- ・新カリキュラムによる研修の評価・修正

ファーストレベル教育実行委員会

委員長 水田 真由美

【活動目標】

平成24年度認定看護管理者制度ファーストレベル教育課程に基づき研修を円滑に実施すると共に、研修内容および運営についての評価を行い、次年度のカリキュラム改正に活かす。

【活動内容】

○回数：4回

- 平成24年度認定看護管理者制度ファーストレベル教育課程の実施と評価
6月1日（開講式）から12月6日（閉講式）まで、6科目150時間（10単位）を13名の講師で実施し、科目履修生1名を含む計48名が受講した。その内、47名が教育課程を修了した。研修終了後の講師毎アンケートは全体的に好評価であり、受講生の自己評価も受講後は受講前より高くなっていた。
- 研修運営の評価
各科目の講義運営は目標に沿っており、受講生からも好評価であった。

あった。

開講式での抱負の発表は受講生の学習動機を高めるために有効であり、閉講式での学びと今後の課題の発表は今後の課題を明確にすることができていた。

また、「看護情報論」の科目（講師：末永由理）を公開講座として、8名が受講した。

3. 次年度の計画立案

平成25年度カリキュラム改正に向けて、研修内容および講師の検討を行った。

【今後の課題】

平成25年度より新カリキュラムの実施となり、カリキュラムの実施・評価を行い、次年度に活かしていく。また、公開講座は受講者が少なかったため、ファーストレベル修了者や組織のニーズに沿った研修を企画することが継続課題である。

セカンドレベル教育実行委員会

委員長 東田 裕子

【活動目標】

第一線監督者または中間管理者に求められる基本的責務を遂行するために必要な知識・技術・態度の習得し、施設理念並びに看護部門の理念との整合性をはかりながら担当部署の看護目標を設定し、その達成を目指した看護管理過程が展開できる能力の拡大をめざすことをねらいとしたセカンドレベル教育課程を実施し、和歌山県内の看護の質の向上を目指す。

【活動内容】

○回数：10回

- 平成24年度認定看護管理者制度セカンドレベル教育課程の実施と評価
9月13日から12月13日までに4科目20単元の講義と4科目の演習、看護管理実践計画書の作成を180時間で行った。25名が受講し全員修了した。各科目終了後のアンケート結果では、理解度、実践への活用、モチベーションなどおおむね評価は良かった。また演習などを通して受講生同士で学びを深めることができていた。

- セカンドレベル教育課程カリキュラムの改正
カリキュラム基準に沿って、単元内容を整理し、単元内容にあった時間数・講師を検討した。教科目では情報テクノロジーが削除され、ヘルスケアサービス管理論・統合演習が新設された。

- 看護管理実践報告会の開催
和歌山県内の看護の質の向上を目指しセカンドレベル教育課程修了者のフォローアップとセカンドレベル教育課程未受講者の動機づけ、施設代表者のセカンドレベル教育課程の理解と支援を得るため報告会を開催した。79名の参加者であった。平成21年度から23年度修了生のうち11名が看護管理実践計画をもとに各部署での実践を報告し、参加者との質疑応答も活発に行われた。

【今後の課題】

- ・セカンドレベル受講者の確保と研修会の運営
- ・実践報告会を継続して行う
- ・新カリキュラムの研修評価を行う

その他委員会報告

WLB推進委員会

推進者 古川 紀子

【事業目的】

地域を主体に、看護職のワーク・ライフ・バランスの実現に取り組み、看護職の働き続けられる職場づくりを行う

【活動内容】

○回数：推進委員会 2回
：参加施設への説明会 1回
：参加施設・推進員合同会議 4回

1. 「WLB推進ワークショップ」において、参加施設の取り組みに対する助言・支援
2. ワークショップの企画・運営
3. ワークショップ開催（公開講座）
開催日：平成24年8月27日（月）28日（火）
場 所：和歌山県看護研修センター
ファシリテーターとなり、参加施設のアクションプラン作成への助言・支援
4. フォローアップワークショップ開催（公開講座）
開催日：平成25年1月23日（水）
場 所：和歌山県看護研修センター
ファシリテーターとなり、参加施設の報告・討議に対し助言・支援

【今後の課題】

1. 参加施設と支援者、推進委員との連携・協力体制を密にし、WLBの推進を図る
2. 行政及び労働局との連携を強化しWLB推進を図る

平成24年度取り組み参加施設 6病院

研修名	日時	内容	参加人員
WLB推進ワークショップ	H24.8.27 H24.8.29	WLBの基本的な考え方 看護職のWLBインデックス調査について WLBのためのアクションプランについて等	46人
WLBフォローアップワークショップ	H25.1.23	ワークショップ取り組み報告（取り組み6病院からの報告・意見交換）	

地区支部報告

伊都地区支部

支部長 小松 仁美

活動目標

- ・地区支部活動を充実する
- ・社会のニーズに応じた質の高い看護を提供する
- ・会員の組織強化をはかる
- ・関係機関や関係職種との連携をはかる

事業名	開催日・場所	参加者数	対象者	行事内容	その他（参加者の反響・主催者の感想）
看護週間行事「一日まちの保健室」	平成24年5月12日	262名 17名	地域住民 役員及び 協力員	血圧測定・骨密度測定 健康相談・栄養相談 心肺蘇生法及びAEDの使用	血圧測定や骨密度測定は、健康の指標の一つとなり食生活の意識向上のきっかけとなった。他職種の協力により充実した活動ができた。この活動をおし看護協会活動をアピールすることができた。
支部通常総会 研修	平成24年7月7日	58名 (委任状334名)	会 員	総会 ・平成23年度事業報告及び決算報告 ・平成24年度事業計画（案）及び予算（案） 研修 テーマ：最新の褥瘡ケアについて 講師：公立那賀病院 皮膚排泄ケア認定看護師 久保乃英先生	研修会においては、褥瘡対策の基本から最新情報まで、これからの看護に活かせる内容であった。
老人看護月間	平成24年10月13日	39名	地域住民 会員及び役員	研修会 テーマ：高血圧の予防は減塩料理から 講師：和歌山県立医科大学附属病院紀北分院 分院長 有田幹雄先生 血圧測定・栄養指導・こころの健康チェック	研修会は好評であったが、週週に紀北分院主催の公開講座と内容が重複していたこともあり、地域住民の参加が少なかった。次年度は広報の仕方と行事の方法の検討が必要である。
研 修 会	平成25年1月8日	60名	会員及び役員	支部合同研修 テーマ：看護職の確保定着をすすめるために～ワークライフバランスの推進・給与表の改定・実感できる看護ができる環境づくり～ 講師：日本看護連盟前幹事長 石田 まさひろ先生	興味のあるテーマであり、わかりやすく話してくれたので、時間が短かったという声が多かった。今回は支部会員の要望を考慮し、平日の時間外に研修会を設定したので、参加しやすかったと好評であった。
施設会員代表者会議	平成25年3月27日		施設代表者 役 員		
役 員 会	11回				
今後の課題	・非会員も参加できる魅力ある研修会を企画し会員の増加に努める。 ・関連機関や関連職種との連携をはかり看護の質向上を目指す。				

那賀地区支部

支部長 曾 和 とも子

活動目標

1. 和歌山県看護協会からの情報・活動を支部会員に伝達、また、地区支部研修を充実し看護の質向上を図る
2. 看護協会の広報活動により新会員の増加に努める

行事名	開催日・場所	参加者数	対象者	行事内容	その他（参加者の反響・主催者の感想）
1日まちの保健室	5月12日（土） 岩出ミレミアシティ	住民 199名 協力員 32名	地域住民	健康チェック ・血圧測定・体重測定・体脂肪測定・骨密度測定 保健指導・栄養相談	身近な所での健康チェック、毎年、開催してほしいと地域住民の方にとっても喜んでもらった。

行事名	開催日・場所	参加者数	対象者	行事内容	その他（参加者の反響・主催者の感想）
地区支部総会 研修	6月30日（土） アイアイセンター	388名 委任状含む	地区支部会員	総会 ・平成23年度事業報告及び決算報告 ・平成24年度事業計画（案）及び予算 ・役員交代 研修会 テーマ：明日から生かす認知症患者への対応 講師：護老人保健施設 ラ・エスペランサ 中林 聡 氏	
老人看護月間 研修	11月17日（土） 公立那賀病院	57名	地区支部 看護職員	研修会 テーマ：明日から出来る～誤嚥性肺炎予防を取り入れた口腔ケア 講師（公立那賀病院）：摂食・嚥下障害認定師 東本 里奈 氏	季節的にも肺炎併発が多く、興味深い研修会だった。 日頃、口腔ケアに苦慮されている質問が多かった。
施設代表者会議	平成25年 3月11日（月） 公立那賀病院 14時～16時	15名 （1名欠席）	地区施設 代表者 会	木村会長より、 中央理事会報告・看護師夜勤ガイドライン発行について 県看護協会研修センター建設予定地の広報説明 会員増員について・県看護通信教育課程廃止の説明	
役員会 8回/年			地区支部役員3名	事業の打ち合わせ・反省会等	
今後の課題	1. 研修会の充実を図り、看護の質向上に努める 2. 新会員の増加に努める				

和歌山地区支部

支部長 木村 美登利

活動目標

- ①地区支部活動を通して、地域住民の看護協会への理解を深める
- ②地区支部会員に対して、必要な情報を提供する
- ③地区支部会員に対して、看護実践の現場に生かせる研修会を実施する

行事名	開催日・場所	参加者数	対象者	行事内容	その他（参加者の反響・主催者の感想）
看護週間行事 一日町の保健室	平成24年5月12日（土）	102名	地域住民	健康チェック 健康相談	参加者数を増やすには開催場所を変更した方が良い
支部集会	平成24年6月30日（土）	183名	地区支部会員	・地区支部活動計画 ・予算案 ・地区支部規約変更について	
老人看護月間行事	平成24年9月15日（土）	47名	地域住民	出前健康チェック （心の健康・腰痛など） 健康相談	PT、栄養士の協力を得て実施したのは良かった
研修会	平成24年6月30日（土）	183名	地区支部会員	「地域をつなぐ訪問看護ステーションの役割」 訪問看護ステーションなだい 灘井 京子先生	参加者の評価は良かった
研修会	平成24年10月27日（土）	50名	地区支部会員	「脳と心の働きを利用してなりたいたい自分になる」 株式会社フィロソフィ 植松 博之先生	参加者の評価は良かった
地区施設代表者会議	平成25年3月13日（土）		地区支部 施設代表者		
役員会	11回	—	—	—	—
今後の課題	◆支部集会は、決議・承認が不要となったため、参加機が薄れているが、支部会員の意見交換の場としては重要な事業であるので、次年度も研修会とセットで開催する ◆看護週間行事・老人月間行事は、開催場所の工夫が必要である ◆研修会への参加意欲をそそるテーマや方法の工夫が必要である				

海南・海草地区支部

支部長 上田 陽子

活動目標

1. 看護の質の向上に努める
2. 地域住民の生活習慣の予防・介護予防を推進する

行事名	開催日・場所	参加者数	対象者	行事内容	その他（参加者の反響・主催者の感想）
1日まちの保健室	平成24年5月12日	117名 16名	地域住民 役員・協力員	健康相談（生活習慣病） 身長・体重 血圧・体脂肪・骨密度測定	参加者は「自分の日頃の健康管理を見直す事が出来た」と、好評でした
第1回研修会	平成24年6月30日	142名	会員・非会員	講演 病院職員としての接遇のあり方 講師 経営者協会講師 岩橋 梨恵先生	实际的で、大変分りやすく、職場で、明日から行動に移せると、好評でした
地区支部総会	平成24年6月30日	300名 （委任状を含む）	会 員	1. 平成23年度事業及び会計報告 2. 平成24年度事業計画及び予算報告	
老人看護月間行事	平成24年10月21日	313名	地域住民 役員・協力員	脳の老化度チェック 豆つかみ・かなひろい	毎年、同じ内容でやってくれるので、年齢に関係なく出来ると好評であった
第2回研修会	平成24年12月1日	111名	会員・非会員	講演 呼吸器看護専門外来における 看護の実際 講師 慢性疾患看護師 竹川 幸恵先生	看護外来での活動が、具体的な内容だったので、現場で直ぐに、活かせるという意見が多かった
施設代表者会議	平成25年3月25日	10名 8名	施設代表者 役員	県看護協会会長より 1. 日本看護協会の動向 2. 和歌山県看護協会の事業・計画について等	
役員会	平成24年4月18日 6月30日 8月1日 9月11日 11月2日 平成25年1月11日 3月25日	8名	役 員	理事会・支部長会報告 地区支部運営に関する検討	
今後の課題	魅力的な研修会を企画し、会員・非会員に参加を呼びかけ、地域の看護の質の向上を目指すとともに、会員数の増加をはかる				

有田地区支部

支部長 小原 喜代子

活動目標

- ・看護協会の活動を通して、地域住民に看護職への認知、理解を深める。
- ・広報活動により新会員の増加に努める。

行事名	開催日・場所	参加者数	対象者	行事内容	その他(参加者の反響・主催者の感想)
1日まちの保健室	平成24年5月12日(土)	56名 16名	一般住民 役員・協力員	健康チェック ・血圧測定・体重測定・腹囲測定・体脂肪測定・ 骨密度測定・保健指導・健康相談、介護相談、 子供の記念写真撮影(看護師の衣装で)	参加者の波があり、集中する時とそうでない時がある。数年同じ場所で行っているの で、来年度は、別の地域で開催する。
地区支部総会	平成24年6月30日(土)	93名	会 員	平成23年度事業報告及び会計報告 会計監査報告 平成24年度事業計画(案)及び会計報告(案) 役員改選等	
第1回研修会	平成24年6月30日(土)	93名	会 員 非 会 員	講演 「認知症の基本的な知識と対応について」 講師：関西医療大学准教授 和田 幸子先生	認知症患者への対応は、どの施設でも悩ん でいる。今回、具体的な体験談等を交えて の講義で「実践の場に生かすことができる」 との意見が多かった。
老人月間行事	平成24年11月4日(日)	140名 13名	一般住民 役員・協力員	健康チェック ・血圧測定・身長測定・体重測定・腹囲測定・ 体脂肪測定保健指導、健康相談、介護相談 こころの健康チェック	老人月間行事として行ったが、参加者の年齢 層がまちまちで、20代の若者も多数参加が あった。 参加者からは「普段、検診や病院に行く機会が ほとんど無いので、健康チェック・相談を受け ることができて良かった」と言う声があった。
第2回研修会 看護連盟合同	平成25年2月9日(土)	96名	会 員	看護研究発表会 講演「看護連盟の活動について」 講師：県看護連盟会長 谷 眞子先生	参加者からは、「他の施設での取り組みがわ かり、参加して良かった」との意見であった。 従来通り、隔年の開催とする。
施設代表者会議	平成25年3月18日(土)	12名	会 員	県看護協会木村会長より報告・説明 ・日本看護協会の動向 ・県看護協会の平成25年度事業計画等 ・新看護研修センター建設推進	
役員会	4回	8名	役 員	理事会・支部長会報告 地区支部運営に関する検討	
今後の課題	地域住民対象の事業を通して、地域住民に看護協会の認知度を高める。魅力ある研修会を企画・実施し、会員増につなげる。				

日高地区支部

支部長 西岡 倫代

活動目標

地域住民の健康をサポートし、地域と密着した活動を行う

行事名	開催日・場所	参加者数	対象者	行事内容	その他(参加者の反響・主催者の感想)
一日まちの保健室	平成24年5月12日 (10:00~14:30) オークフロマン シティー御坊店	140名	地域住民	血圧測定・末梢血液循環測定・骨密度・ 健康相談・保健指導等	
第1回支部役員会	同 上 (14:30~15:00)	8名	支部役員	開催行事の反省及び総会について	
総 会	平成24年6月30日 (13:30~15:30) 御坊保健所	52名 委任状 237名	看護協会員	1、平成24年度事業報告及び会計報告 2、平成24年度事業計画及び予算案 3、新役員紹介	
第1回会員研修会	同 上	52名	看護協会員 非 会 員	講演「疲れたからだを元気にしよう!!」 講師：歌って笑って楽しい健康づくり研究所 くわばら りみ先生	体を動かすことで、心身ともにリフレッシュ できた。 会員からも「他の会員と交流できた」「鋭気 をやしなえた」等の感想があり好評であった。
第2回支部役員会	平成24年6月30日 (15:30~16:00) 御坊保健所	8名	支部役員	1、総会及び会員研修の反省 2、看護月間行事について	
看護職体験実習 打ち合わせ会議	平成24年9月25日 (10:00~11:00) 日高総合病院	6名	看護協会員 由良町、県	看護職体験学習打合せ	
看護体験学習	平成24年10月10日 (10:00~11:00) 由良町白崎会館	20名	中 学 生 由良町、県 看護協会	看護職体験講義 講師：国保日高総合病院 浪看護師長	中学生に対して、看護職のPRを実施した。
第3回支部役員会	平成24年10月22日 (18:00~19:00) 御坊保健所	8名	看護協会員	1、老人看護月間行事について 2、第2回研修について	
老人看護月間行事	平成24年11月11日 (8:00~13:30) きのくに信用金庫 御坊営業所	70名	地域住民	御坊市商工会が開催した『復活商工際』に参加 各種身体測定(血圧・血流・骨密度)健康相談、 保健指導、を実施	激しい雨の中、屋外テントで実施した。支部 役員及び他の団体の協力を得て、実施する ことが出来た。
第4回支部役員会	平成24年12月21日 (17:30~18:30) 御坊保健所	7名	支部役員	老人看護月間行事の反省及び第2回研修会開 催について	
第2回会員研修会	平成25年3月16日 (13:30~15:30) 御坊保健所	46名	看護協会員 非 会 員	講演会 テーマ「看護職のセルフケア」 講師：hu-cocoro office 代表 峰 裕子先生	
第5回支部役員会	平成25年3月16日 (15:30~16:30) 御坊保健所	8名	支部役員	1、研修会の反省 2、平成25年度「一日まちの保健室」開催に ついて 3、平成25年度事業計画(案)について 4、その他	

行事名	開催日・場所	参加者数	対象者	行事内容	その他(参加者の反響・主催者の感想)
施設代表者会議	平成25年3月18日 (13:30～15:00) 御坊保健所	14名	施設代表者	1、平成24年度事業実施について 2、平成25年度和歌山県看護協会事業について 3、公益法人移行について 4、その他	
今後の課題	1、日高地区支部会員増加に努める 2、地区支部の連携を図り研修会への参加を促す				

田辺地区支部

支部長 林 弘子

活動目標 1. 支部活動を通じて更に会員相互の連携を深める 2. 地域に根ざした活動を深め看護職への理解を深める

行事名	開催日・場所	参加者数	対象者	行事内容	その他(参加者の反響・主催者の感想)
看護の日事業 (1日まちの保健室)	平成24年5月12日(土) 9:00～12:00 オーシティ田辺店	75名 7名	地域住民 役員	「看護の日」のPRとともに健康チェック 血圧測定 体脂肪測定 健康相談	気軽に健康相談や測定ができると好評であった。
地区支部総会	平成24年7月7日(土) 13:30～14:00 南和歌山医療センター	504名 (委任状含む)	会 員	平成23年度の地区支部事業報告及び決算報告 平成24年度の地区支部事業計画及び予算案 平成24年度役員紹介	
第1回研修会	平成24年7月7日(土) 14:00～16:00 南和歌山医療センター	48名	会 員 非 会 員	講演「病院と地域との連携」 講師：田辺圏域保健医療介護の連携体制 体制すすめる会代表 初山 昌平先生	田辺圏域の保健医療介護の関係者は日頃から顔の見える関係づくりをしておくことが大切であることを学んだ。
老人看護月間行事	平成24年11月4日(日) 9:30～15:00 上富田町保健センター	142名 9名	地域住民 役員	血圧測定 体脂肪測定 健康相談 こころの健康チェック	天候にも恵まれ、多くの方に測定していただき、健康を考えるいい機会になった。
第2回研修会	平成25年1月12日(土) 13:30～16:00 社会保険紀南病院	44名	会 員 非 会 員	講演：「加齢と摂食機能～大丈夫ですか？ あなたと家族の老後の摂食・嚥下機能～」 講師：摂食・嚥下障害看護認定看護師 宮田 栄里子先生	嚥下・摂食機能の基礎知識と、実際のとろみの試食など演習も含めた内容でわかりやすかった。 アンケートでも「実践への応用ができる」という意見が多かった。
第3回研修会 研究発表会	平成25年3月16日(土) 13:30～16:00 社会保険紀南病院	79名	会 員 非 会 員	看護研究会 講評：急性・重症患者看護専門看護師 井上 潤先生	6施設8題の看護研究発表があった他施設の研究発表を聞くことで、その施設の理解が深まり又研究から学ぶことも多かった。 演題ごとの講評と研究についてのミニ講演は次の研究に活かすことができると好評でした。
施設代表者会議	平成25年3月22日(金) 15:00～17:00 社会保険紀南病院予定	参加予定 17名	会 員		
その他 役員 会	平成24年 5月12日 7月7日 10月17日 1月12日 3月16日	7名 9名 7名 6名 5名	役 員	各行事の打ち合わせ及び反省 理事会報告等	
今後の課題	魅力ある研修会を企画し、会員、非会員に参加を呼びかけ会員数を増やす。 会員相互の連携をはかり、地域における看護の質の向上を目指す。				

新宮・串本地区支部

支部長 小林 一太

活動目標 会員相互の連携を深め、情報交換を図り看護の質の向上に繋げる。

行事名	開催日・場所	参加者数	対象者	行事内容	その他(参加者の反響・主催者の感想)
1日まちの保健室	5月12日	135名 9名	一般住民 協力員	血圧・体脂肪測定、健康相談等	各測定値の基準票付きの測定用紙に測定値を記入して渡したので、参加者全員が両方の測定を行ってくれた。
平成24年度総会		63名	会 員	1、平成23年度事業及び会計報告 2、平成24年度事業計画、予算報告	
第1回研修会	6月30日	75名	会 員 学 生	講演「災害看護」 講師 和歌山赤十字看護専門学校 畑下 真守美 先生	昨年の台風12号の大災害を経験したこともあり、関心が強く参加者も多かった。豊富な体験をきいた講演は分かりやすく大好評であった。
老人看護月間行事	11月4日	166名 11名	一般住民 協力員	血圧・体脂肪測定、健康相談・ こころの健康チェック等	太地町の「太地浦くじら祭り」の会場で行った。イベント中、気分が悪くなった方が2名おられ、協力員が救護に回った。
第2回研修会	11月10日	35名	会 員 非 会 員	講演「看護倫理について学ぼう！」 講師 和歌山赤十字看護専門学校 副学校長 高岸 壽美 先生	表題の通りの講演であった。参加者からは、振り返り、考え、意識する良い機会になったと大好評であった。
支部役員会	4月27日 6月22日 10月25日 1月22日	4名	支部役員	・各行事の打ち合わせ及び反省 ・理事会報告等	
地区支部 施設代表者会議	3月21日		施設代表者	県看護協会長より、事業についての報告等	
今後の課題	魅力ある研修会を企画し、積極的な参加を促し、参加者を増やす。施設間の連携を強化する。				

平成 25 年度 和歌山県看護協会役員・推薦委員選挙候補者一覧

役 職 名	氏 名	所 属	備 考
常任理事	古 川 紀 子	和歌山県看護協会	推薦委員会推薦
理事（書記長）	小 泉 美 穂	自宅	推薦委員会推薦
保健師職能委員長	櫻 根 桂 子	自宅	推薦委員会推薦
助産師職能委員長	宮 本 靖 代	橋本市民病院	推薦委員会推薦
看護師職能委員長 I	東 直 子	白浜はまゆう病院	推薦委員会推薦
地区理事（支部長兼任） 和歌山地区	岡 室 優	和歌山県立医科大学附属病院	推薦委員会推薦
地区理事（支部長兼任） 海南・海草地区	上 裕 佳 恵	海南保健所	推薦委員会推薦
地区理事（支部長兼任） 新宮・串本地区	杉 山 文 栄	新宮市立医療センター	推薦委員会推薦
監 事	温 忍	自宅	推薦委員会推薦
推薦委員	谷 井 朋 子	和歌山市役所	推薦委員会推薦
//	日 裏 明 美	湯浅保健所	推薦委員会推薦
//	山 田 千 加	有田市立病院	推薦委員会推薦
//	上 田 由 美	橋本市民病院	推薦委員会推薦
//	上 野 恵	紀和病院	推薦委員会推薦
//	田 口 佳 美	北出病院	推薦委員会推薦



心地よい眠りで、あなたの元気を応援します。

東洋羽毛のゴア® 羽毛ふとん

汚れのもとになるものはふとんの中に入りません。

寝ているときの汗はこもりません。

まるでふとんが呼吸をするように

いつも衛生的で心地よい温かさを保ちます。

温かいを超えた至福の寝心地を、

是非お試しください。



東洋羽毛関西販売株式会社

和歌山営業所
〒640-8329 和歌山県和歌山市田中町2-18-1-2F
☎ 0120-32-7766

ホームページアドレス <http://www.toyoumo.co.jp>

清潔・きれい・衛生
Bedding Products

保健師のコーナー

保健師職能委員 上 裕 佳 恵



先日、10年くらい前から毎年続けている保健婦学校の同窓会が東京であり、一年間のご無沙汰で15名が集まりました。関東在住の方々が今年は幹事で、隅田川クルーズでスカイツリーと東京タワーが楽しめるというイベントを組み込んでくれました。船上からの景色は、夕闇せまる時間と共に印象深いものでしたが、眼前に広がる高層マンション群を眺めて、ふと都会の保健師活動は、難しいだろうな、あのマンションの一つの棟を担当してもらっても把握できないと思いました。東日本大震災の津波も頭をよぎりました。ここは、津波が来たらどうなるのかな、耐震は万全に考えて建てられた建物なのだろうけれど、等々。マニュアル作成では、先頭

ですばらしい活躍の東京都。地方生活者の私が心配することではないのだけれど。保健師の活動は、その場その場の持ち場所で変化もするし、変化させなければならない場面もあります。和歌山県では、南海・東南海の地震という近い将来はいつのかなと気になるところです。

さて、私は職能委員として昨年の6月から活動に参加しています。24年度は、災害活動に焦点を当てた保健指導ミーティングに取り組みました。保健師は指示を待つのではなく、情報収集をして必要なことは何かを考えていきます。今利用できる社会資源は何か、埋もれているものは何か、災害時に限らず平常時の活動でも同じ事です。職能委員会に参加して、保健師活動について再発見が多くとても勉強になっています。若い方も是非会員になって、活動の幅を広げてほしいと思います。

助産師のコーナー

助産師職能委員 山 本 記美代



今年度より助産師職能委員として活動させて頂いています。毎月の委員会では、他施設のメンバーの方々と現場での問題提起・情報交換ができ、湧き合い合いとした環境下で多くの事を学ばせて頂いています。

昨年度からの取り組みである「和歌山県内における助産外来の調査」を勉強させて頂くことで、自施設の開設当初の取り組みに活用させて頂けたことや周産期における災害シンポジウムでの学びを自施設の災害対策に活かせることができました。

昨年末では、思春期教室を通じて中学生の皆さんと貴重なふれあいを経験しました。学生さんの赤ちゃん人形の抱っこ

は、「3キロの赤ちゃん、こんなに重い?」「この抱っこでいいのかな?」「僕の生まれた体重もこれくらいだったんだ。」などの言葉が飛び交いました。悲しいニュースの多い中、命の大切さを訴えていける活動に携われることができました。地域とのつながりを持つことで、今後の助産師としての在り方を学べる機会を頂けたことに感謝しています。

来年度は、助産師独自のキャリアパスやクニカールダーの取り組みにも活動していきます。現場の皆さまのご意見を頂戴し、共に研修を通して学び喜んでいただけますよう今後も努めていきたいと思ひます。

どうぞよろしくお願ひいたします。

看護師のコーナー

看護師職能委員会Ⅰ 中 村 美 香

約2年前、看護部長から「准看護師の職能委員として会議に参加してくれないか」と言われ、不安もありましたがお引き受けいたしました。

職能委員会では何をすればいいのかさえ分らず毎月参加しました。委員会に出席を重ねていくうちにだんだんと職能委員の仕事の内容が分り始め、それに伴い日本看護協会の指針を知ることができました。看護協会の一員ではあるものの、協会活動を理解していなかった自分に気付きました。

看護職として質の向上と医療連携の確立や、看護職として働く環境を整備し働き続けられる職場づくりに向けた協会活動に携われたことは私自身にとって今後の糧になりました。

今回、職能委員として委員会に参加させて頂き、部長には、「いい経験をさせてくれてありがとうございます」の言葉を言いたいと思ひます。最後に、職能委員の皆様大変ではあると思ひますが、がんばって下さい。

看護師のコーナー

看護師職能委員会Ⅱ 田 中 景 子



看護師職能委員会Ⅱの活動に参加させていただき2年目に入りました。はじめは職能委員会の活動が分からず不安な気持ちで委員会に参加していました。普段、大学で小児看護学を教育している立場にある私が、職能委員会Ⅱの「介護・福祉関係施設で働く看護職の資質の向上」という目標に対してどのように活動していけばよいか悩むことも多くありました。しかし、委員長をはじめ委員の皆さんと議論を重ねるたびに、病院、介護・福祉施設、在宅での現状と問題を知り学ぶことができ、今では新たな視点で看護を見つめなおす良い機会となっています。

近年、介護施設を取り巻く環境は入所者の医療的ケアの増加や要介護度の上昇など大きく変化しており、終の棲家として施設での最期を希望される方も少なくありません。その現状を踏まえ、「安らかな看取りのために～施設や在宅でのかかわり～」というテーマで出前研修を開催しました。介護・福祉関係施設で働く看護職・介護職を対象に講義とグループワークを行いました。小規模な研修ではありましたが、対象者の皆さんは講義を真剣に聴いてくださり、またグループワークも熱心に取り組まれていました。対象者の皆さんからのご意見やご要望をもとに、今後はさらに充実した研修を開催できるよう努めていきたいと思ひます。

感染管理看護領域の活動と最新情報

社会保険紀南病院 感染防止対策室 感染管理認定看護師 中本千秋



感染管理認定看護師（Infection Control Nurse 以下 ICN）は、2001年に初めて誕生し、2012年8月1日現在で全国のICN数は1611名、和歌山県は13名となりました。

感染管理とは、患者が本来の病気以外の感染症にかからない為、更にはその家族や医療従事者など医療施設にいる全ての人々が、医療に関連した感染を受けない為の環境を整え、感染の予防対策や拡大防止に努める事です。その為、ICNは必要な専門知識と技術を駆使し、院内ラウンドによる情報収集やサーベイランス、マニュアルの作成、ICT（感染対策チーム）ニュースとして感染対策や情報の提供、感染に関連する相談と解決への支援や教育・指導などを組織横断的に行います。又、医師・看護師・臨床検査技師・薬剤師等で構成されたICTで週1回院内ラウンドを行い、起炎菌に対し適切な治療や根拠に基づいた適切な対策が実施されているか等の確認や指導を行います。

2012年4月から各医療機関における感染防止対策の評価の充実、推進を図る事を目的に診療報酬が改定され、独立した新しい加算項目として施設基準を満たし、医療機関同士の連携や相互の感染防止対策の評価等を行う事により、入院初日に限り加算1は最大500点、加算2は100点の加算が取れるようになりました。当院は加算1を取得し、加算2との合同カンファレンスや相談、加算1同士の相互評価を実施し、地域を含めた医療関連感染の低減に努めています。

私は専従ICNとしてようやく3年を迎える若輩者ですが、院内外への積極的な活動を支援していただいている当院の期待に答えられるよう自己研鑽に努め、ICTを中心とした感染管理活動を充実させ、現場の職員が正しい知識を持ち、実践可能で継続できる感染対策に心がけ、患者が安心して安全な療養生活が送れ、更に当院にいる全ての人々が安心して働ける環境作りに努力していきたいと思っております。

地域連携のコーナー

名手病院における「地域連携室」の活動や最新情報

医療法人 共栄会 名手病院 地域連携室 柴田 かわり



当院は1980年に開設以来、一般内科を中心に透析やリハビリテーション、整形外科等の診療を行っているほか、内科の救急患者の受け入れを行っています。また、訪問看護ステーション、特別養護老人ホーム、グループホームなどの介護施設との連携を行い、高齢化、核家族化が進む地域において、患者さまやご家族さまが住み慣れた場所で生き生きと暮らせるよう、地域に密着した医療、サービスの提供に取り組んでいます。

地域住民の方々が安心して暮らしていくには、健康管理から治療、リハビリテーション、在宅医療、介護まで切れ目のないサービスが必要です。そうした地域医療連携の重要性から、当院に地域連携室ができたのが5年前です。

現在は看護師1名、相談員2名によって、紹介患者さまの受け入れ調整、紹介医療機関への返書管理等の前方連携はもちろん、カンファレンス参加など院内での情報共有、患者さま、ご家族さま、関連他機関との連絡・調整などの退

院支援・調整といった後方支援にも力を入れています。

また、病院の顔として患者さまやご家族さま、地域の方々に開かれた地域連携室を目指し、より多くの方々が気軽に相談できる環境を整え、患者さまやご家族さまはもちろん、ケアマネジャーの方々にも気軽にご相談いただいております。

さらに、現在当院では患者さまの思いをすぐに院内全体の問題として共有し解決していくために、週に1度「患者サポート委員会」を開いています。地域連携室は、様々な視点からアットホームで細やかな心配りができるよう、このような院内の委員会とも連携して患者さまの思いに迅速に対応できるようにしています。

2013年夏には病院がリニューアルされ、新しい病院入口に新たに生まれ変わった地域連携室が設置されることとなります。光あふれる明るい空間で、これまで以上に患者さまやご家族さまが相談に訪れやすい、やさしさと思いやりが満ちた地域連携室となれるよう今後も努力してまいります。

医療安全

数珠つなぎ

国保日高総合病院

医療安全管理責任者 上道 雅和



平成 21 年 6 月に新設された医療安全管理室で働いています。医療安全の仕事は“暗くて地味”なんて事は決してありません。人間の限界を知り、信頼性を上げるために新たな技術を導入しシステムを構築する。しかも職種の壁を越えて問題に取り組む事が必要な仕事です。皆さまに

「少しは良くなかったかな」と思って頂けるような取り組みを行えば、インシデント報告の際にため息をつかずに報告してくれるのかなと思います、日々頑張っております。

次回号に紹介させていただく方は
有田市立病院 医療安全担当者 池下 恵様です

私の



《何気ない日常》

医療法人明美会 有田南病院 栩野 久美



私の趣味、生き甲斐は〇〇で、これがあるから仕事も頑張れるんです!と、プライベートを自慢したいのに、年に1回のスキーの他には、あれ?特に無い…と少々がっかりしました。でも、自分の日常を思い浮かべてみると、好きな音楽を聴きながら車を走らせたり、休日の昼寝で幸せを感じたり、買い物で欲しい物が見つかって満足したり。趣味でも生き甲斐でもないけれど、結構楽しめていることに気がきました。特に私達の仕事は毎日が緊張とストレスの連続で、四六

時中ストレスに晒されている身が持ちません。でも、ストレスを上手くコントロール出来ている人は、自覚していてもしていなくても仕事とプライベートとのメリハリをつけて、何かしら楽しめているのだと思います。

私もいつかは海外旅行をしよう、いつかは楽器を習おう等等考えていますが、それはまだまだ先のことなので、今は“何気ない日常”を楽しんで心と身体をリフレッシュしたいと思います。

リレーエッセイ

友達の

輪

Vol.44

くしもと町立病院 看護部長 松浦 三代

和歌山県で看護師として勤務することになって4年が過ぎました。県外からの1ターンで串本町に来て生活しています。県内の方からも多分(推測ですが)、陸の孤島のような町とイメージされていると思うのですが、気候は温暖で住民の方は穏やかで優しい方ばかりですし、和歌山市まで3時間で行けるので移動に慣れるとそんなに遠く感じません。

私が勤務するくしもと町立病院は、津波被害を受けない海拔53mの高台に平成23年11月に新築移転しました。地域に密着した医療や看護が提供できるよう、心強いサポーターである4名の師長をはじめみんなと心を合わせて頑張っています。



今回は、海南医療センター(海南市民病院)看護師長 津本 美鈴さんをご紹介します。

施設内禁煙に向けて

和歌山県立医科大学附属病院紀北分院 山下 みよ子

当院は、平成22年9月の新病院移転後も、館内禁煙のみで屋外に喫煙場所を設置していました。当然、職員が喫煙している所も見つけられました。しかし、病院機能評価受審を契機に、平成24年8月から敷地内禁煙となり、屋外に設置していた喫煙場所を撤去したことで、敷地内で喫煙している職員の姿を見ることはなくなりました。

喫煙できない環境をつくることで、現在は、職員および来院

者ともに喫煙している方は見られなくなりました。

啓蒙活動としては、8月からの院内敷地内全面禁煙に先立ち、禁煙についての意識向上を図るため、和歌山県立医科大学医学部公衆衛生教室教授 竹下達也先生をお招きし、「禁煙について」の研修を実施しました。また、病院入口や外来フロア一、病棟に敷地内禁煙ポスターを貼り、来院者・職員への周知を促しています。

My Hospital

トータルケアセンター
なだい

自施設における活動や 最新情報について

矢出 装子

トータルケアセンターな代いは訪問看護、訪問介護事業に加え、平成 23 年 8 月に療養デイサービスと一般デイサービスと居宅介護支援の施設を設立し、新しいセンターとして開設致しました。療養デイサービスは重症の方を日々関わらせていただいている訪問看護師が中心にケアするデイサービスです。重症な方の心身のケアに加え、外出できなかった重症な方に外の空気を感じてもらえる機会となること、自宅で介護されるご家族様のレスパイトとしても喜びの声をいただいております。

「私たちは、地域で連携を深め、ご自宅でのよりよい生活を送るため、御利用者の皆様に満足していただけるサービスを提供します」を理念に、住み慣れた地域で、自宅で自分らしく生活したい、最期の時間を自宅ですごしたい、家で看取りたい等さまざまなご希望をサポートさせていただいております。また、介護者であるご家族様の介護に対する不安・負担の軽減、ご家族様の生活との両立も我々センターの大きな役割と考えております。

利用者様、ご家族様を中心として病院や開業医、ケア

マネージャー、福祉用具会社などフォーマルサービス、インフォーマルサービスを利用者様につなげ、必要な機関と蜜に連絡を取り合いケアさせていただいております。当センターではデイサービスや療養デイサービスも実施しているため、身体・生活の変化に応じてその方の生活がよりよいものとなるよう、ご希望に沿って継続的に柔軟性を持ってサポートさせていただくことが可能となりました。

その方が生きてこられた生活の場に帰ること、住み慣れた地域で生活していくこと、思い出の多い自宅で最期を迎えることを選択する事に大きな壁がなくなり、少しでも多くの方が安心して療養生活を送れる支援を提供できるセンターとなるよう日々精進しています。



和歌山県看護協会の動き

平成 25 年度 第1回 理事会

協議事項

1. 平成 24 年度事業実施報告(案)について
2. 平成 25 年度日本看護協会代議員及び予備代議員選出(案)について
3. 平成 25 年度和歌山県看護協会役員・委員選挙候補者(案)について
4. 和歌山県看護協会会長表彰者(案)について
5. 認定看護管理者教育運営委員会の再編(案)について
6. 職能委員・常任委員会及び特別委員会等の委員選出(案)について
7. 就業規則の改正(案)について
8. 給与規定の改正(案)について
9. 通常総会に関すること
 - 1) 通常総会プログラム(案)について

開催日時：平成 25 年 4 月 12 日(金) 13:00 ~ 15:00
会場：看護研修センター B 室

- 2) 議長、記録、選挙管理委員、代議員報告等について
10. 新看護研修センター建設候補地(案)について
11. その他

以上すべて承認される

報告事項

1. 提案・要望事項
2. 理事役員の報酬及び委員会委員の旅費支給について
3. 関連会議参加報告
4. 会員数について
5. その他
 - 1) 訪問看護推進協議会報告
 - 2) ハヤヨミ 看護政策

厚生労働大臣から 感謝状を頂きました

和歌山県の推薦により、東日本大震災において「災害支援」に貢献したことが評価され、今年3月厚生労働大臣から感謝状を頂きました。派県活動にご参加頂きました皆様、並びに快よく送り出して下さった各施設の皆様、また、義援金にご協力頂きました皆様、改めましてお礼を申し上げます。



看護研修センター建設推進委員会 報告

委員長 塩路 有理

平成24年度は12回の委員会を開催し、和歌山市坂田と海南市南赤坂インテリジェントパーク近大研究所の一部を候補地として検討を重ねてきたことは黒潮でお知らせしました。各地区の施設代表者会議においては、会長から上記2か所の候補地の説明がされ、施設代表者の皆さんにそれぞれの施設での意見をまとめて頂いていました。しかし、今回平成25年度に入り、平成24年度通常総会で白紙撤回された海南市南赤坂トランス

コスモスから再度売却の意向が示されました。平成25年度最初の理事会で検討した結果、会員一人当たりの負担金、立地環境などを考慮し、トランスコスモスを新看護研修センター候補施設として通常総会で提示することに決定しました。詳細は、会員の皆様に「建設だより」を配付し、ご理解を頂いているところです。

近畿地区看護研究学会について（お知らせ）

表記学会は、平成24年度近畿地区看護研究学会をもって終了しましたのでお知らせいたします。本学会は、昭和56年日本看護協会総会において日本看護協会事業として承認されました。その後、平成7年に主催が日本看護協会から都道府県看護協会となり、近畿地区では、2府4県の看護協会が輪番で開催してまいりました。その後、時代の変化により、医療・看護の専門分化が進むとともに各専門学会が誕生し研究発表の場が拡大してきました。他府県では、これを機に地区看護研究学会を中止するところが多くなってまいりました。

近畿地区看護研究学会の「今後のありかたについて」検討し、学会のテーマを焦点化すること、開催は1日とすることを決め継続してきました。しかし、全国での地区学会の開催が近畿地区1県となったことを受け、和歌山県看護協会で開催された平成24年度近畿地区看護研究学会をもって終了することとなりました。

近畿地区においては、近畿地区看護協会会長協議会において

今後、近畿地区看護協会は、日本看護協会主催で開催される学会の開催県として協力してまいりますので、積極的にご参加いただけますことをお願い申し上げます。

外国人看護師“県内初 看護師国家試験合格”

和歌山市内の寺下病院で働くフィリピン人1名と中国人3名が日本の看護師国家試験に合格しました。フィリピン人のドナベル・カルマ・ダビドさんは経済連携協定（EPA）に基づいて来日し、言葉や生活習慣等の違いを乗り越え、県内で初めて看護師国家試験に合格しました。現在和歌山県には、インドネシア、フィリピンから10名の外国人看護師候補者が来日しています。

語をもっと勉強して日本で一人前の看護師になりたい」と満面の笑みを浮かべながらそれぞれ語っていました。

ドナベル・カルマ・ダビドさんは2011年に来日し、名古屋での語学研修終了後、看護補助者として働く傍ら苦勞しながら勉強を続けてきました。しかし途中成果が上がらず「いくらやってもできない。フィリピンに帰りたい」と弱音を吐く彼女に、中看護部長は「日本の看護を学びに来たのに、試験を受けなければフィリピンに帰りますか」との問いかけに「父の反対を押し切って日本に来たのに、このままでは帰れない」と覚悟を新たに勉学に励み見事合格することができました。

中看護部長は「彼女たちはとても頑張っている。素晴らしい人達ばかりでこれからも楽しみです」。また木村会長からも、「看護協会も皆さんを応援しています。頑張ってください」と日本看護協会坂本会長の著書「看護師の仕事につきたい」と「看護師の倫理綱領」を贈呈しエールを送りました。

（記 古川 紀子）

彼女は日本の看護の素晴らしさを語り、将来帰国した折には、日本で学んだ看護を伝えたいといきいきと話していました。

また、看護系大学等卒業後2011年もしくは2012年に来日した中国人の3名は、同病院で働きながら日本語能力検定を突破し看護師国家試験に見事合格しました。彼女たちは、「日本



知って得する看護協会だより



第6号

●発行責任者／看護師職能委員長 東 直子 ●編集／看護師職能委員会

あなたのために、できること あなたに、できること

2013年3月に「看護職の夜勤・交代制勤務に関するガイドライン」が出ました。

<ガイドラインの基本的な考え方>

- ① 看護師の心身の健康の保持増進は「組織」と「個人」による取り組みによって表現される。
- ② 看護職の心身の健康保持増進には夜勤・交代制勤務の負担を軽減していく対策が欠かせない。
- ③ 夜勤・交代制勤務の負担軽減は、個々の職員や職場全体がより快適な方向に向かうためのワークライフ・バランス推進の一環として行われる必要がある。



※各施設に2部ずつ配布されています。
 協会ホームページにおいて前文ダウンロード可能です。
 「看護職の夜勤・交代制勤務に関するガイドライン資料つき（仮称）」は、
 5月末メヂカルフレンド社より販売予定です。

夜勤・交代制勤務に関するガイドライン
 看護職が安全で、健康に働き続けられる職場づくりをすすめるために作成されました。

第14回

プレゼント!

「足まくら」
を
3名様に!

どちらか1つ
当たります!

「図書券」
1,000円分を
2名様に!

みなさま、どしどし応募してください。

はがきに ①希望の商品名 ②氏名 ③会員番号 ④郵便番号・住所
 ⑤電話番号 ⑥勤務先名 ⑦本紙へのご意見・ご要望を明記の上、
 6月25日(火)までにお送り下さい。(消印有効・1人1通のみ)
 抽選の上、当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。

東洋羽毛様から
足まくら
頂きました



宛先 〒641-0036 和歌山市西浜 1014-27 和歌山県看護協会 「5月号プレゼント」係

プレゼント 応募者の 声

- たくさんの方が活躍されている事を知り、身の引き締まる思いがします。私も目標を持ち、仕事に取り組んでいきたいと思えます。
- 近況報告など楽しみにしています。「トピックス2013」が好きです。